

令和6年度 草加の教育



平成塾合同発表会



青少年相撲大会

草加市教育委員会

【表紙の説明】

新型コロナウイルス感染症が五類に移行したことを受け、教育活動・イベントを再開しています。

- ・ 平成塾合同発表会を開催

平成塾での活動の成果を発表する平成塾合同発表会を令和 5 年 6 月に開催しました。

- ・ 青少年相撲大会を 5 年ぶりに開催

次代を担う子どもたちが国技である相撲に親しむことを目的とする青少年相撲大会を令和 6 年 6 月に 5 年ぶりに開催しました。

目

次

教育委員会教育長・教育長職務代理者・委員
歴代教育委員会教育委員長・委員・教育長

I 教育行政・教育財政

令和6年度草加市教育委員会教育方針	5
令和6年度草加市教育行政重点施策	8
令和6年度教育予算	9
教育委員会の組織	10
教育委員会の事務分掌	11

II 子ども教育

「子ども教育」の連携を推進	15
国際理解教育	17
環境教育	19
情報教育	20
生徒指導	21
教育相談	23
特別支援教育	25
自然教室	28
学校図書館教育	30
学校給食	31
学校保健	33
教職員の研究・研修	34
入学準備金・奨学資金の貸付制度	36
外国人学校児童生徒保護者補助金制度	36
計画的な学校教育施設整備の推進	37
教育施設の紹介	38
市立小学校の紹介	39
市立中学校の紹介	45

III 生涯学習

学びの成果が発揮される生涯学習の推進	51
文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的 な取組の推進	53
生涯学習施設の紹介	54
草加市立中央図書館	58

IV 人権教育

人権教育	65
------	----

V 資料編

草加の教育の沿革	69
草加市の指定登録文化財等	78
教育委員会関係附属機関委員	83
学校教育関係等一覧	84
児童・生徒数等の推移	85
教職員の年齢構成・男女比	86
学校概要	87
小・中学校施設状況	88

教育委員会教育長・教育長職務代理者・委員

(令和6年4月1日現在)

氏 名	教 育 長	教育長職務代理者	委員
	在任期間	在任期間	在任期間
やまもと こういちろう 山 本 好一郎	R 3. 4. 1 ～ R 6. 3. 31 R 6. 4. 1 ～ R 9. 3. 31		R 2. 10. 1 ～ R 3. 3. 31
かとう ゆみ 加 藤 由 美		R6. 1. 1 ～	H24. 10. 1 ～ H28. 9. 30 H28. 10. 1 ～ R 2. 9. 30 R 2. 10. 1 ～ R 6. 9. 30
うだがわ くみこ 宇田川 久美子			H26. 4. 1 ～ H30. 3. 31 H30. 4. 1 ～ R 4. 3. 31 R 4. 4. 1 ～ R 8. 3. 31
かわい かすみ 川 井 かすみ			H31. 1. 25 ～ R 5. 1. 24 R 5. 1. 25 ～ R 9. 1. 24
みね ぎき たかし 峰 崎 隆 司			R 3. 4. 1 ～ R 6. 9. 30
たに わき じゅんこ 谷 脇 純 子			R 6. 1. 1 ～ R9. 12. 31

歴代教育委員会教育委員長・委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教 育 委 員 長		委 員		教 育 長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32.1.9	S35.9.9	S31.10.1	S35.9.30		
岡 野 仁右衛門			S31.10.1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10.1	S43.9.30		
池 田 俊 三	S44.1.9	S45.1.8	S31.10.1	S48.9.30		
	S48.1.10	S48.9.30				
田 中 捷一郎			S31.10.1	S46.9.30	S31.10.1	S46.9.30
中 島 長太郎	S36.1.9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12.9		
宮 本 忠 藏	S45.1.9	S45.9.30	S43.4.1	S45.9.30	S47.1.14	S49.10.4
	S45.10.24	S46.1.11	S45.10.5	S49.10.4	S50.1.9	S53.12.31
			S50.1.1	S53.12.31		
上 山 良 一	S46.1.12	S47.1.7	S43.12.25	S47.12.24		
	S49.1.11	S52.1.10	S48.3.1	S52.2.28		
	S52.1.22	S52.2.28				
二階堂 重 信	S47.1.8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48.3.1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49.1.1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52.4.23	S53.4.22	S51.1.1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51.6.21	S55.6.20		
野 口 康 司	S53.4.23	S54.3.31	S53.1.1	S56.12.31	S54.4.1	S56.12.31
小 澤 博	S54.4.1	S56.12.31	S53.4.1	H5.6.30	S57.1.1	H5.6.30
藤 波 壽	S59.1.1	S61.12.31	S54.7.1	S62.6.30		
竹 澤 義 郎	S62.1.1	S62.12.31	S55.1.17	S63.1.16		
浅 古 正 三	S57.1.1	S58.12.31	S55.8.12	S63.8.11		
小 山 利 男	S63.1.1	H1.12.31	S57.4.1	H2.3.31		
渦 尾 延之助	H2.1.1	H2.12.31	S62.10.1	H3.9.30		
桂 保 平			S63.4.1	H4.3.31		
鈴 木 昭 平	H3.1.1	H4.9.30	S63.10.1	H4.9.30		
高 野 光 由	H4.10.1	H6.3.31	H2.4.1	H10.3.31		
	H8.1.10	H10.3.31				
藤 井 光 男	H6.4.1	H7.12.31	H4.1.1	H7.12.31		
神 白 高 子			H4.6.1	H12.5.31		
定 道 成 美			H4.10.1	H8.9.30		
常 田 種 雄			H5.10.15	H10.3.31	H5.10.15	H10.3.31
谷古宇 康 治	H10.4.1	H11.12.31	H8.1.1	H11.12.31		
會 田 勝 美			H8.10.1	H15.3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12.7.1	H16.6.30		
牛 山 信 康	H12.1.19	H14.1.18	H11.1.1	H17.4.22		
	H17.1.19	H17.4.22				
若 林 誠 満	H14.1.19	H17.1.18	H12.1.1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10.4.1	H22.3.31	H10.4.16	H22.3.31
國 澤 正 和	H19.5.24	H21.9.30	H16.10.1	H23.3.31	H22.4.1	H23.3.31
岩 永 嘉 仁			H20.1.1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17.5.24	H19.5.23	H15.4.1	H24.9.30		
西 田 敏 子	H25.1.25	H26.3.31	H22.4.1	H26.3.31		
井 出 健治郎	H21.10.1	H22.12.31	H17.10.1	H22.12.31		
	H23.1.25	H25.1.24	H23.1.25	H31.1.24		
村 田 悦 一	H26.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R2.9.30		
高 木 宏 幸			H23.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R3.3.31
小 澤 尚 久			H24.1.1	R5.12.31		

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長の職は廃止されました。

I 教育行政・教育財政

令和 6 年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するため、「第四次草加市教育振興基本計画」においても「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校（以下「幼保小中」という。）と家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携・協働して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図り、子どもたちの自己肯定感・自己有用感・他者理解を高めるとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にした信頼される学校教育を推進します。併せて持続可能な社会の創り手となることを見据え、「自分の考えを持つ」「伝える」「コミュニケーションを行う」「他者と協力する」能力態度の育成を重視します。

市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会の充実を図るとともに、その成果を発揮できる学習環境づくりを推進します。

0 歳から 15 歳までの子どもの育ちを共に支え、目指す「草加っ子」を実現するため、「第四次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画」に基づき、引き続き全中学校区で幼保小中を一貫した教育を実施し、これまで育んできた自己肯定感・自己有用感を一層高めるとともに、他の人のよさを認める他者理解も高めることができるよう、各中学校区の教育実践を支援します。

さらに、地域社会が一体となって子どもの育ちを支えられるよう、幼保小中・家庭・地域の連携・協働を推進するとともに、家庭教育への支援や施策の周知・広報を積極的に行います。

子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在と捉え、誰一人取り残すことのない、一人ひとりの可能性が引き出される教育の実現を目指します。

児童生徒の学力向上を最重要課題の一つと捉え、自己効力感や向社会性等の非認知的な能力にも十分に目を向けながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現し、児童生徒の資質・能力を育成します。

全ての教育活動を通して、子どもたちの自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む視点を持ちながら「自分の考えを持つ」「伝える」「コミュニケーションを行う」「他者と協力する」能力態度の育成を重視するとともに、学習活動の充実を図ります。

道徳教育や「いのちの大切さ」を実感する教育を充実させ、心豊かな児童生徒の育成を目指します。また、いじめや不登校などの諸問題に対する相談体制を整えるとともに、発達支持的な生徒指導の充実を図り、いじめの未然防止・早期発見、いじめを撲滅しようとする心情や態度を育てます。

心身ともに健康で豊かな人生を送れるよう、力いっぱい運動し、しっかり食事を取り、ぐっすり睡眠をとる等の基本的な生活習慣を身に付けた健康でたくましい児童生徒の育成を目指します。

学校運営協議会と学校応援団が両輪となり、コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりを一体的に推進します。

「草加市立小中学校における働き方改革基本方針」に基づき、教職員の意識改革や業務改善、教職員以外の人材活用を図り、働き方改革をより推進し、教育の質の維持向上を図ります。

要因が複雑に絡み合うことで起こる児童生徒の不登校など支援が必要な様々な状況を、解決すべき重要な課題として捉えて対応するため、臨床心理士等による丁寧な教育相談活動を推進します。また、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員などの機能を強化し、学校や園、関係諸機関と連携をより一層深め、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。

ふれあい教室の体験活動やオンラインを活用した支援を充実させるとともに、児童生徒の自立を支援できるような環境づくりを推進します。

特別な配慮を要する児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応し、一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、幼保小中と連携した丁寧な教育相談、就学相談を更に推進するとともに、十分な環境整備や支援体制を構築します。

関係各課や医療等の各機関との連携や、埼玉県立草加かがやき特別支援学校等が担うセンター的機能の活用を更に充実させます。

特別支援教育に係る市独自の研修会や各学校における研修を充実させることで、全教職員の特別支援教育についての理解を深め、指導力の向上を図り、個に応じた教育支援を推進します。

「草加市公共施設等総合管理計画」、「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、学校の改築等について関係各課と連携し、計画的に進めます。また、校舎等の改修等を効果的・効率的に進め、安全で安心な教育環境の整備に努めます。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

「草加市生涯学習推進指針」を基に、他施策との連携を図る中で、市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や学習機会を、生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」等を通じて提供します。

各公民館等で実施する講座等で習得した技能や知識を地域づくりに還元できるようにすることで、学びの成果が発揮される生涯学習の推進を図ります。

公民館・文化センターにおいては、「草加市公共施設等総合管理計画」及び「草加市学校施設等長寿命化計画」に基づき、安全安心で快適な生涯学習環境の整備を効果的・効率的に進めるとともに、設備や備品の整備・充実を図ります。

「草加市文化財保護指針」を基に、国指定名勝「おくのほそ道の風景地草加松原」を始めとする文化財の保存活用や計画的な整備、さらに、歴史民俗資料館の整備・充実を図り、文化遺産をいかした魅力あるまちづくりを推進します。

中央図書館では、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が会う機会を創出するとともに、「第二次草加市子ども読書活動推進計画」や誰もが使いやすい読書環境の整備を積極的に推進します。

中央図書館が提供するサービスを効果的に情報発信することにより、市民が読書に親しむ機会を増やします。

市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、子育て支援など、市民が抱えている課題を解決できるように、地域の情報拠点として市民に役立つ図書館を目指します。

「草加市人権尊重都市宣言」を基に、全ての教育活動において、子どもたちが自他の大切さを認めることができるよう、発達段階に応じた人権を尊重し合う教育を推進します。

市民が自ら考え行動できるよう啓発活動や学習機会を提供することで、全ての人が相互に認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。

「だれもが幸せなまち 草加」の実現に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働し、「笑顔かがやく草加の教育」を目指し、積極的に取り組みます。

令和 6 年 4 月 1 日

令和6年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会は、第四次草加市総合振興計画第三期基本計画及び第四次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、教育行政重点施策を定めています。

○ 子ども教育「自ら学び、心豊かに、 たくましく生きる草加っ子の育成」

1 一人ひとりを大切にする幼保小中を一貫 した教育の推進

(1) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業
- ◇ 「草加っ子」を育む子ども教育連携教員配置事業

(2) 自ら学ぶ「草加っ子」の育成

- ◇ 学力向上推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 土曜学習推進事業
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 日本語指導支援事業

(3) 心豊かな「草加っ子」の育成

- ◇ 豊かな心推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ いじめ撲滅推進事業

(4) たくましく生きる「草加っ子」の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 学校給食推進事業（小中学校）
- ◇ 学校給食管理運営事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務

(5) 多様なニーズに対応した教育と支援の充実

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）
- ◇ 学校就学援助事業（小中学校）
- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業

(6) 草加っ子の学びを支える教職員の指導力向上

- ◇ 教職員研修推進事業
- ◇ 草加っ子「生き生きプラン」推進事業

2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

- ◇ 学校管理運営事業（小中学校）
- ◇ 学校運営・就学事務事業

(2) 家庭教育への支援

- ◇ 家庭教育支援事業

3 教育環境の整備・充実

(1) 安全安心な学校教育施設の整備・充実

- ◇ 学校施設維持管理事業（小中学校）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小中学校）
- ◇ エアコン設置等事業（小中学校）
- ◇ 学校管理備品整備事業（小中学校）
- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業

(2) 学習環境の整備・充実

- ◇ 情報教育環境整備事業（小中学校）
- ◇ 教材教具整備事業（小中学校）
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 特色ある学校経営推進事業（小中学校）

○ 生涯学習「学びを通して生きる力を 育む生涯学習社会の推進」

4 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

(1) 生涯を通した多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 子ども大学そうか事業
- ◇ 二十歳のつどい企画運営事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業
- ◇ 栄小学校施設一般開放事業

(2) 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

- ◇ 公民館等事業（中央公民館、柿木公民館、新田西文化センター、谷塚文化センター、川柳文化センター、新里文化センター）

(3) 文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業

(4) 読書や学びを支え市民に役立つ図書館サービスの充実

- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業

○ 人権教育「人権を尊重し合う教育の 推進」

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

令和6年度教育予算

令和6年度一般会計歳出予算（当初）

（単位：千円）

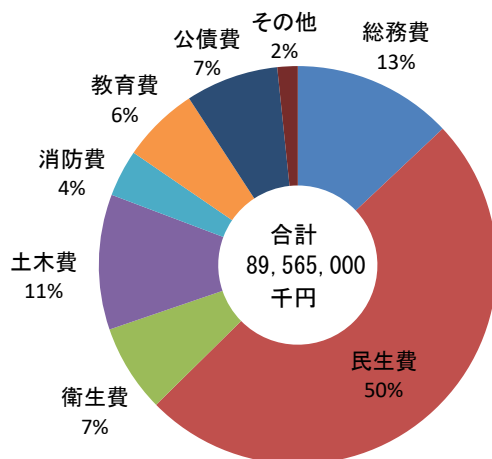
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	408,661	412,290	△ 3,629	△ 0.9
2 総務費	11,626,666	13,036,147	△ 1,409,481	△ 10.8
3 民生費	44,453,785	42,584,202	1,869,583	4.4
4 衛生費	6,397,100	6,248,056	149,044	2.4
5 労働費	40,706	42,110	△ 1,404	△ 3.3
6 農林水産業費	73,124	87,238	△ 14,114	△ 16.2
7 商工費	839,512	579,977	259,535	44.7
8 土木費	9,840,006	10,502,936	△ 662,930	△ 6.3
9 消防費	3,408,628	2,936,060	472,568	16.1
10 教育費	5,595,491	5,153,077	442,414	8.6
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	6,761,318	6,723,904	37,414	0.6
13 予備費	120,000	120,000	0	0.0
歳出合計	89,565,000	88,426,000	1,139,000	1.3

令和6年度教育費内訳（当初）

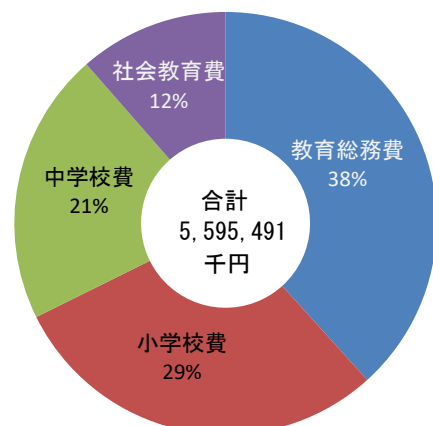
（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	2,142,932	1,817,813	325,119	17.9
2 小学校費	1,643,962	1,650,720	△ 6,758	△ 0.4
3 中学校費	1,168,260	1,045,649	122,611	11.7
4 社会教育費	640,337	638,895	1,442	0.2
合計	5,595,491	5,153,077	442,414	8.6

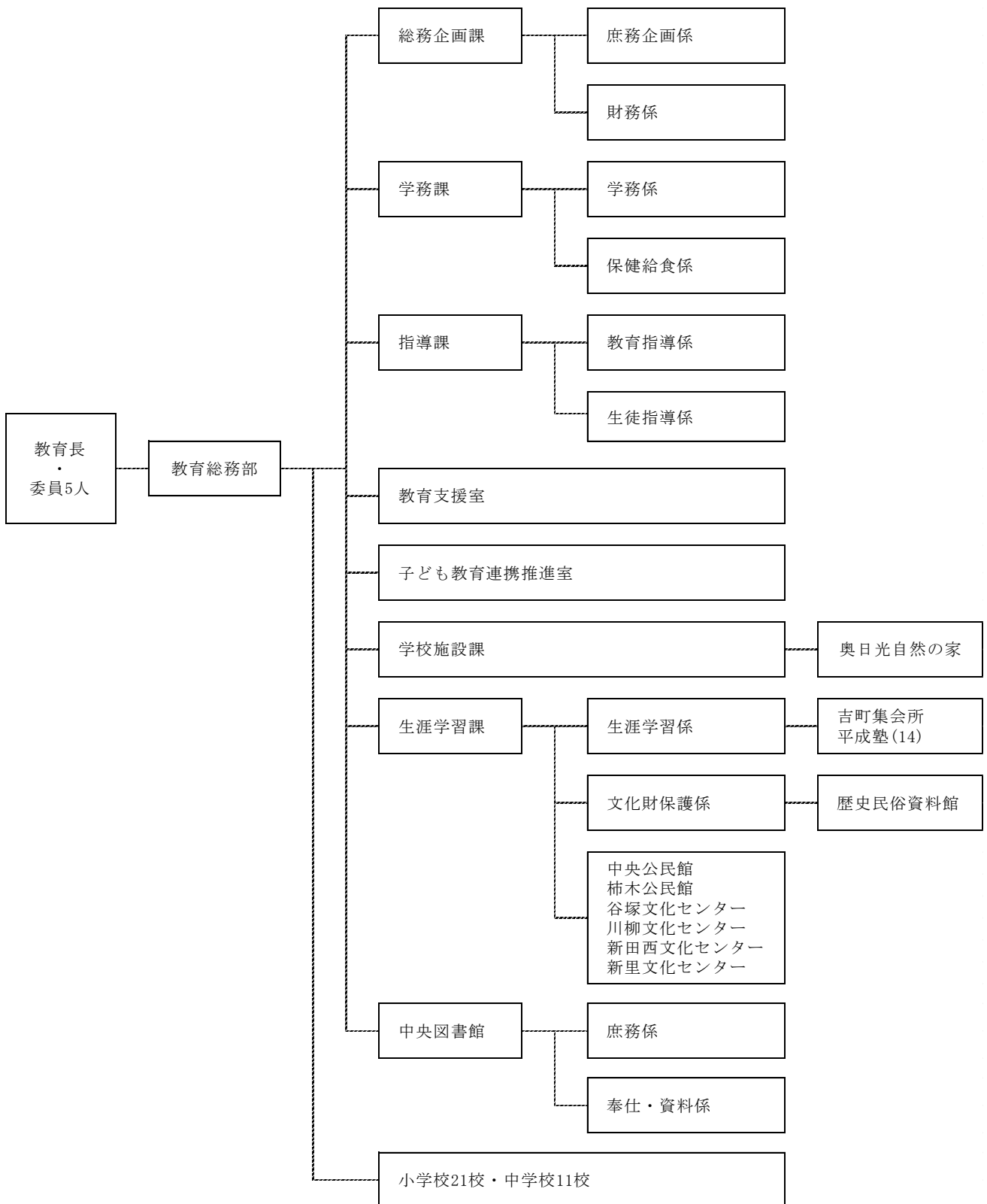
○ 令和6年度一般会計歳出予算（当初）の構成



○ 令和6年度教育費（当初）の構成



教育委員会の組織



教育委員会の事務分掌

教育総務部		
総務企画課	庶務企画係	教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関すること。 教育委員会の会議に関すること。 教育委員会の秘書事務に関すること。 学校の設置及び廃止に関すること。 教育委員会規則等の制定及び廃止に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関すること。 儀式及び表彰に関すること。 文書等の配布及び発送に関すること。 文書事務の指導に関すること。 公印の管理に関すること。 教育委員会事務局内の調整に関すること。 他の課に属さない事務に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	財務係	予算の作成及び調整に関すること。 学校予算の配当に関すること。 物品の購入、委託その他の契約に関すること。 教育財産の統括に関すること。 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関すること。 教育の調査統計及びその分析に関すること。 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関すること。 その他財務に関すること。
学務課	学務係	県費負担教職員の服務及び人事に関すること。 学級編成及び児童生徒数の管理に関すること。 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 学齢簿の編製及び保管に関すること。 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関すること。 通学区域の設定及び改廃に関すること。 学校の運営の基本的事項に関すること。 学校基本調査に関すること。 学校評価に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	保健給食係	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。 児童等災害対策基金に関すること。 学校給食の計画及び推進に関すること。 学校給食用備品の維持管理に関すること。
指導課	教育指導係	教職員研修及び各種教育研究会に関すること。 教科等の指導に関すること。 教育課程の編成及び管理に関すること。 教育研究奨励に関すること。 学校教育調査に関すること。 安全教育等に関すること。 国際理解教育の推進に関すること。 情報教育の推進に関すること。 環境教育の推進に関すること。 進路指導に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 教科用図書無償給与事務に関すること。 校外行事等に関すること。 学校における人権教育に関すること。 児童生徒の事故に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	生徒指導係	生徒指導に関すること。

教育支援室		特別支援教育に関すること。
		教育相談に関すること。
		その他室の庶務に関すること。
子ども教育連携推進室		幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。
		幼児期の教育に関すること。
		家庭教育への支援に関すること。
学校施設課		学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関すること。
		学校施設の設備の保全及び委託に関すること。
		奥日光自然の家に関すること。
		学校施設の整備計画に関すること。
		学校施設の建設及び大規模改修等に関すること。
		学校施設の安全に関すること。
		学校施設の使用許可に関すること。
		その他学校施設に関すること。
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の企画及び推進に関すること。
		生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
		社会教育施設に関すること。
		社会教育機関の相互調整及び社会教育関係団体の育成に関すること。
		生涯学習における人権教育に関すること。
		二十歳のつどいに関すること。
		栄小学校施設の一般使用に関すること。
		その他課の庶務に関すること。
	文化財保護係	文化財の保護に関すること。
		歴史民俗資料館に関すること。
		市史の刊行に関すること。
		歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
		公文書館の整備推進に関すること。
中央図書館	庶務係	図書館運営に関すること。
		施設管理に関すること。
		多目的ホール的一般使用に関すること。
		その他図書館の庶務に関すること。
	奉仕・資料係	図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
		郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
		その他図書館資料に関すること。
		図書館資料の利用に関すること。
		レファレンス・サービスに関すること。
		文化事業の企画及び運営に関すること。
		その他図書館の奉仕に関すること。

Ⅱ 子 ども 教 育

「子ども教育」の連携を推進

1 目指す「草加っ子」を育む幼保小中を一貫した教育を推進しています。

目指す「草加っ子」である「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むために、0歳から15歳までを、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を育む連続した教育期間と捉え、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校・家庭・地域が共に子どもたちの育ちを支える「子ども教育」の連携を推進しています。

幼保小中を一貫した教育の実践により子どもの自己肯定感・自己有用感・他者理解を育み、変化の激しい社会を生き抜く力の根幹をつくりあげます。

各中学校区において定めた「目指す子ども像」を園、学校、家庭、地域が共有し、その実現に向けて、各園、各学校において、15年間を通じたカリキュラムを編成・実施するとともに、系統性のある教育を行っています。

2 日々の教育・保育を支援する資料の活用を促進することにより、幼保小中を一貫した教育を推進しています。

(1) 目指す「草加っ子」(幼保小中教育指針)

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むため、0歳から15歳までの発達段階ごとに、「生活」「人とかかわり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定めた教育の指針です。

この指針により、どの園、どの学校であっても教職員が子どもの育ちや中学校卒業時の姿を共有し、その実現を目指した教育を進めます。

(2) 草加市幼保小中一貫教育プログラム

本市の幼児教育・義務教育における現状や課題を踏まえ、各発達段階等間において重要となる考え方と、接続期及び移行期を含めて幼保小中を一貫した教育を一層充実させていくための交流・連携の実践例を示した資料です。

このプログラムにより、資質・能力の育成という観点からカリキュラムに一貫性をもたせるとともに、0歳から15歳までの子どもの育ちを見通すための交流や連携の充実を図ります。

(3) 草加っ子 にこにこ わくわくプラン

小学校入学までに身に付けたい力を育むために、乳幼児期に「生活する力」「人とかかわる力」「自ら学ぶ力」に関して経験させたい内容や実践事例を、発達の時期ごとに示した、幼稚園教諭・保育士向けの指導資料です。中期の保育計画・指導計画を立てる際に活用しています。また、保育事例を日々の教育・保育に生かしています。

(4) 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム

0歳から15歳までの子どもの育ちに見通しをもって、系統性を踏まえた学習指導を行うために、各教科等の「学び」のつながりを明らかにし、達成すべき目標等をまとめた資料です。小中学校の教員がつながりを意識した授業を実践する際に活用しています。また、年間指導計画を立てる際にも活用しています。

(5) 小中学校教育課程指導資料（国語、算数・数学）

児童生徒の学力や意欲を伸ばし、思考力の育成や知識・技能の定着を図るために、幼児期の教育から中学校卒業までを見通した国語や算数・数学の系統的な指導が実践できるよう支援します。

(6) 学ぼう！ふるさと草加

草加の子どもたちが探求的な学習を通じて地域と関わり、人・もの・歴史や文化・まちづくりなど「ふるさと草加」について学ぶことで、地域のよさを知り、地域への愛着や誇りを持てるようにするとともに、よりよく課題を解決していく力を育成するための教員向け指導資料です。ふるさと草加学習の実践事例や指導計画例、地域の教材資源などを掲載しています。

3 講座・講演会や各種リーフレットを通して、家庭教育の充実を図ります。

(1) 「親の学習」講座の開催

① 小中学校入学前など、子どもの成長の節目において、保護者向け「親の学習」講座を開催します。親が親として育ち、就学・入学までに家庭で準備すべきことや子どもとの関わり方について支援します。

② 近い将来、大人になる中学生を対象として、中学生向け「親の学習」講座を全中学校で実施します。人と人とのつながりに気づき、家族や社会の一員として自分の力をどのように生かしていきたいか考えることで、大人になることに希望をもてるよう支援します。

(2) 子育て講演会の開催

主に0歳から15歳までのお子さんの保護者を対象として、「子育て講演会」を開催し、子どもと保護者との接し方や関わり方など、子育てに関して学ぶ機会を提供することで、保護者の不安の軽減を図ります。子どもの発達段階を踏まえ、「乳幼児期の子育て」、「就学前後期の子育て」、「思春期の子育て」をテーマに全三回開催します。

(3) 保護者向け子育てリーフレットの配布及び活用方法等の周知

子どもの発達段階に応じて、家庭で取り組んでほしいことをまとめたリーフレットを配布し、見通しをもって子育てや就学・進学の手準備ができるよう支援します。

① 「笑顔で子育て」

保護者が安心して子育てができるよう、子どもの発達の時期ごとに家庭で大切にしたいことをお知らせするリーフレットです。

② 「もうすぐ1年生」

小学校入学までに身に付けてほしいことをお知らせし、子どもたちが充実した小学校生活を送れるようにするリーフレットです。

③ 「エンジョイ！中学校生活」

中学校生活の様子を紹介し、子どもたちが充実した中学校生活を送れるようにするリーフレットです。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は、国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語・外国語活動の充実に向け、語学指導助手（A L T）を全小中学校に各1人、計32人配置しています。外国語・外国語活動の授業を中心に、国際理解教育、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

また、日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供する通級指導を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とA L Tとのチームティーチング等を通し、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。

また、草加市独自の副教材「センテンス・マラソン」を中学校全学年生徒に配布し、「書くこと」の能力の充実を図っています。

さらに、平成29年度より、英語検定試験推進事業を実施しています。中学校第3学年の全生徒が、英語検定試験を受検し、国の目標である中学校卒業時3級合格を目指します。3級受検料5,000円を上限に補助を行い、英語教育の推進に取り組んでいます。

3 小学校における外国語・外国語活動

小学校の3年生・4年生では外国語活動の授業、5年生・6年生では外国語の授業が行われています。担任教師が中心となり、教科書や文部科学省作成の教材等を活用し、A L Tとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことを通して、国際理解を深めることができるよう実施しています。

また、草加市独自の副教材「P a r i p o r i E n g l i s h B o o k (パリポリ・イングリッシュ・ブック)」を活用し、言語活動や文字指導に取り組むなど、積極的にコミュニケーションが取れる児童の育成に努めています。

さらに、市立小学校3・4年生児童を対象に、A L Tや獨協大学生が用意したレストラン等のブースを周り、英語でコミュニケーションを取る楽しさを体験するイングリッシュキャンプを実施しています。

4 日本語支援事業「S O K A いっぱ」・国際理解教育補助員の配置

草加市国際相談コーナーと連携し、日本語指導を必要とする外国人児童生徒等に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供するために、日本語指導支援員を1人配置し、日本語指導を支援する「S O K A いっぱ」を開室しています。

また、日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（８人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援を行っています。

５ 成果

取組により、外国語を通して外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

日本語指導においては、日本語を学ぶ機会を提供することで、日本語学習への意欲が高まり、日本における生活の基礎を身に付けることができます。また、対象児童生徒がスムーズに学校や学級に慣れることができます。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。教育委員会では、平成4年度から学校教育の場において廃棄物資源課と連携し、小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。平成16年度からは、廃棄物資源課と連携して、小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した取組を行っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組
- (3) 地域や自然環境アドバイザーとの連携による学校環境改善のための助言
- (4) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルの取組
- (5) エコライフDAY（県）の積極的な参加
- (6) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室を通した環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 自然環境アドバイザー等の関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育は、児童生徒の情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の育成を図ります。

小中学校では、各教科等の授業においてＩＣＴを積極的に活用するとともに、プログラミング教育の充実も図りながら学習活動における情報教育を推進しています。

2 主な取組

(1) ＩＣＴ環境の整備

- ・タブレット端末を全児童生徒に各１台整備
- ・全小中学校の学校図書館にコンピュータを整備
- ・全小中学校の普通教室・特別教室にインターネット高速通信回線網を整備
- ・小中学校県費負担教職員全員に教育用兼校務用コンピュータを整備
- ・全小中学校の普通教室すべてに６５インチの大型提示装置を整備
- ・全小中学校にＩＣＴ支援員（非常勤）を配置

(2) ＩＣＴ・情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のために、ＩＣＴ・情報教育研修会を実施して各校の事例を市内教職員で共有し授業改善につなげています。

また、ＩＣＴ支援員を活用しながら情報教育の校内研修などに取り組んでいます。

(3) 情報教育推進委員会

校務・教務の両面で学校のＤＸ化が進んでいます。情報教育推進委員会では、情報機器の新規導入に関する意見交換や有効活用の仕方などを研究推進しています。

一例として、ＧＩＧＡスクール構想による、一人に一台配布しているタブレット端末を利用した児童生徒の情報教育推進を図るため、実践事例を検証し、効果的な活用方法の検討提案等を行っています。また、ＩＣＴ機器を活用した学習活動の在り方やプログラミング教育についての研究を行い、更なる情報教育の推進を図っています。

(4) 授業でのＩＣＴ活用

教師用デジタル教科書（全教科）を整備し、授業で活用しています。また、全小中学校に整備したタブレット端末及び大型提示装置を活用することにより、児童生徒に思考力、判断力、表現力、情報活用能力を身に付けさせる授業を展開しています。

3 成果

取組により、各校でのＩＣＴを活用した教育活動が充実してきています。それに伴い、児童生徒の学習意欲が向上し、予測困難な時代を生き抜くための情報活用能力が向上しています。

また、やむを得ず登校できない児童生徒に対してオンライン学習を実施し、ＩＣＴを活用した支援の充実を図っています。

生徒指導

1 生徒指導の目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消を始め、学校支援の充実を通して、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組を通して各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度から「草加市立小中学校問題解決支援チーム（TEAM 3S）」が発足し、年10回の会議を開催しています。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣を通して、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、埼玉県道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や授業の工夫・改善について、学校訪問での指導助言や道德教育推進教師研修会等を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づいて、造血幹細胞の適切な提供の推進を教育的観点から捉え、「いのちの絆をつなぐ教育」として学校教育の中で推進していくことを目的に、豊かな心推進事業を平成27年度から行っています。

小学校では5年生、中学校では2年生を対象に、「造血幹細胞移植」に係る授業を実施します。

- (5) 「いのちの教育ランドデザイン」を作成し、「いのちの大切さ」を実感することができる学習を通して、子どもが自他のいのちはかけがえないこと、生を受けたことへの感謝、生きることの尊さを理解する「いのちの大切さ」を実感させる教育を推進します。
- (6) 指導課に設置しているフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。
- (7) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (8) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校、特別支援学校との連携を図っています。
- (9) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識

をもつことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員等を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。

- (10) 平成30年3月に「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を改定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。
- (11) 平成30年度から、中学校第1学年を対象に、匿名でいじめ等を報告・相談できるアプリ「STOP i t (ストップイット)」を導入し、いじめ問題に対する「脱・傍観者」意識を育成するための授業を実施しています。

令和元年度からは、中学校全学年に導入し、更にいじめ問題の情報収集が拡大され、早期解決につながると考えています。

また、令和4年度からは名称が「STANDBY (スタンバイ)」に変更されました。いじめ問題だけではなく、悩み相談など、幅広く受け付けられるよう、改めて周知しました。

教 育 相 談

1 目標

教育相談は、専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して相談に応じ、一人ひとりの子どもたちのより望ましい成長と自己実現への支援を行うものです。学校への支援を積極的に行っています。

2 施策・事業の概要

(1) 教育相談等の内容

①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 ⑤就学相談 ⑥ことばの相談 ⑦学校教育相談活動への支援 ⑧各種研修会の実施 ⑨障害児就学支援委員会、調査専門員の活動 ⑩特別支援学級設置校及び通級指導教室開設校への支援 ⑪「教育支援室リーフレット」等の発行

(2) 対応する職員等

(単位：人)

職名	人数	職名	人数
室長・指導主事	4	事務員	2
学校支援指導員	4	特別支援教育指導員	1
「ふれあい教室」指導員	3	特別支援相談員	4
臨床心理士・臨床心理専門員	4	ことばの相談指導員	1
巡回相談員	1	特別支援教室相談員	1
スクールソーシャルワーカー	県費 2 市費 9	通級指導教室指導員	2
スクールカウンセラー	県費 1 2	特別支援教育支援員	2 9
草加市さわやか相談員	1 1	特別支援教室児童担当指導員	3

(3) 教育支援室対応状況の概要

① 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数

(単位：人)

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	69	304	46	285	42	244
知的発達相談	133	653	221	1,029	197	1,016
情緒障がい	178	1,083	344	1,692	327	1,857
集団不適応	161	296	169	249	160	203
いじめ相談	14	107	8	80	14	52
性格行動	1	10	0	19	12	24
あそび・非行	18	70	7	26	9	22
しつけ	2	14	1	5	0	1
就学・進路	1	16	2	5	6	16
生活行動	82	374	82	599	70	391
学習面	126	1,820	253	1,642	426	3,112
不登校	616	4,573	500	3,549	594	3,490
就学相談	468	951	361	1,083	365	912
その他	527	1,191	61	288	174	1,200
合計	2,396	11,462	2,078	10,928	2,396	12,540

② ふれあい教室活用者実人数及び延べ人数 (単位：人)

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
35	752	19	782	21	831

3 令和6年度の取組

- (1) 市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決を促進しています。
- (2) いじめ、不登校問題に関しては、学校配置のスクールカウンセラー、さわやか相談員、教育支援室の臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等により、本人や保護者に寄り添った丁寧な相談活動の充実を図っています。スクールソーシャルワーカーは市内全11中学校区に1名ずつ派遣され、学校や関係機関と連携し、様々な課題についてのサポートを進めています。
- (3) 「そうか1・3・7サポート」をもとに、各校では不登校児童生徒の早期発見・早期対応を進めており、欠席1日目は電話連絡、3日間続いたら家庭訪問、欠席が月に7日となった場合はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを一員とした校内支援チームを編成する等、組織的に不登校対策の取組を進めています。
- (4) 2学期より、草加市児童生徒支援オンラインルーム「ステップルーム」を開設し、主体的な社会的自立や学校生活復帰に向けて、GIGAスクール端末を活用したオンライン支援を行います。
- (5) 学校適応指導教室「ふれあい教室」では、教育支援室と保護者、学校が連携して個に応じた対応に努め、支援を進めています。また、進路面でも保護者、学校との連携により、適切な進路先を考える手助けをしています。

特 別 支 援 教 育

1 目 標

特別支援教育は、障がいのある幼児、児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する発達障害を含む教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒及び障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校では校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 施策・事業の概要

(1) 設置状況

	概要
特別支援学級	知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が小学校全21校65学級、中学校全11校25学級に設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。
通級指導教室	通常学級に在籍していることば・きこえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校3校に4教室設置されています。また、発達・情緒等に課題がある児童生徒のための通級指導教室も小学校3校に5教室、中学校1校に1教室設置されています。 それぞれの教室では、児童生徒の言語面や情緒面等の課題改善のための教育を推進しています。

【令和6年度学校別特別支援学級設置状況】

令和6年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
草加中	13	3	草加小	16	3	新栄小	11	2
栄中	13	2	高砂小	15	2	清門小	19	3
谷塚中	12	2	新田小	15	3	稲荷小	11	2
川柳中	8	2	谷塚小	15	3	氷川小	30	5
新栄中	15	2	栄小	31	5	八幡北小	16	3
瀬崎中	13	2	川柳小	24	4	長栄小	18	4
花栗中	9	2	瀬崎小	15	3	青柳小	11	2
両新田中	12	3	西町小	25	4	小山小	12	2
新田中	15	3	新里小	20	3	両新田小	19	3
青柳中	7	2	花栗南小	16	3	松原小	20	3
松江中	13	2	八幡小	19	3	合計 32校90学級508人		

知的障害特別支援学級については、草加小学校、栄小学校、氷川小学校、長栄小学校の4小学校に各1学級増設し、川柳小学校、新里小学校の2小学校、新栄中学校の1中学校で各1学級減級となりました。

自閉症・情緒障害特別支援学級については、長栄小学校、両新田中学校に各1学級増設となりました。市内の特別支援学級は、全小学校に合計65学級、全中学校に合計25学級を設置し、378人の小学生と130人の中学生、合計508人の児童生徒が在籍しています。

【令和6年度通級指導教室設置状況】

令和6年5月1日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	23	2	氷川小 (発達・情緒)	33	2	八幡小 (発達・情緒)	13	1
松原小 (難聴・言語)	28	2	氷川小 (難聴・言語)	19	1	八幡北小 (難聴・言語)	19	1
栄中 (発達・情緒)	18	1	合計 6校10教室153人					

通級指導教室については、難聴・言語障害3校4教室、発達障害・情緒障害4校6教室を設置し、合計153人の児童生徒が通級による指導を活用しています。これらの学級・教室の設置により、地域で指導ができる体制づくりを構築するとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズにより一層応じられるようになっています。

(2) 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業を通して、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

○特別支援教育指導員や臨床心理士等による計画的な学校訪問を実施することを始めとして、児童生徒、保護者及び学校のニーズに応じたより専門的な支援を推進しています。

○各学校における就学相談委員会などでの相談を始め、早期からの多角的な相談をもとに就学に係る教育的支援を推進しています。

○就学に係る教育的支援を行うために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。

○巡回相談員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。

○通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

○医療的ケアを必要とする児童生徒の在籍する学校に看護師資格を有する者を配置し、医療的ケアを実施する支援体制を整えています。

○階段の昇降に支援が必要な児童生徒の在籍する学校に昇降車を設置しています。

3 令和6年度の取組

- (1) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援を図っています。
- (2) 特別支援学級等に29人の特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。
- (3) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援を推進しています。
- (4) 巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (5) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援を図っています。
- (6) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において必要な学習活動を行うことができる「支援籍学習」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進を図っています。
- (7) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級への巡回支援を行い、担当教員の指導力の向上と特別支援教育の充実を図っています。
- (8) 特別支援教育研修会を行い、教員の資質・指導力の向上を図り、より一層、本市における特別支援教育の推進と充実を図っています。
- (9) 特別支援教室児童担当指導員を3人配置し、通常の学級の中で現在不応を起こしている、または今後不応を起こす可能性のある児童に対して、特別支援学級の弾力的運用等、個別の指導・支援を行うことや、個別の教育支援計画作成に対する助言を行っています。

自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度には、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しました。平成27年度以降、昭和村自然教室として一部小学校で実施しています。

令和6年度は、奥日光自然教室・昭和村自然教室・国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室を実施します。いずれの施設も自然豊かな環境にあり、充実した自然体験活動を行うことができます。

2 実施計画の概要

小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

3 自然教室の経緯

- 昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。
- 昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。
(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)
奥日光自然の家において自然教室を実施する。(小学校3泊4日、中学校4泊5日)
- 平成7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。
- 平成17年 草加市立小中学校自然教室20周年記念式典を行う。
- 平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。
- 平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校4校で実施する。
- 平成28年 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を行う。
- 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。
- 令和3年度 国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室・昭和村自然教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。
奥日光自然教室は宿泊を伴わない活動として実施する。
- 令和4年度 国立青少年教育振興機構の施設(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)での2泊3日の自然教室を小学校11校、中学校11校で実施する。
昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で実施する。
奥日光自然の家での2泊3日の自然教室を小学校8校で実施する。
- 令和5年度 国立青少年教育振興機構の施設(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)での2泊3日の自然教室を小学校12校、中学校11校で実施する。
昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で実施する。
奥日光自然の家での2泊3日の自然教室を小学校6校で実施する。

○令和 6 年度 国立青少年教育振興機構の施設（那須甲子、赤城、磐梯）での 2 泊 3 日の
自然教室を小学校 13 校、中学校 11 校で実施する。
昭和村での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 3 校で実施する。
奥日光自然の家での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 5 校で実施する。

学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館は、児童生徒の読書活動等の場である読書センターとしての機能、主体的な学習活動を支援するなどの学習センターとしての機能、情報の収集・選択・活動能力を育成する情報センターとしての機能を有しています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習・情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、全小中学校に配置し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

「子ども読書活動推進計画」の理念の実現に向けて、児童生徒の読書環境の充実を図っています。

3 成果

各校の取組により、小中学校合わせて年間52万6,032冊の貸出しがあり、読書活動の充実が図られています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において、昭和23年に週3回のミルク給食から開始されました。なお、完全給食は、小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場であるほかは、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の長をいかして、学校行事や児童生徒の食物アレルギー等を考慮したきめ細かな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から、中学校の学校給食調理業務を段階的に民間の専門会社に委託する方式を導入し、平成20年度からは新田中学校を除く全中学校で民間委託方式が導入されましたが、以前と変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

また、物価高騰に対応して、令和6年10月からの学校給食費を改定しました。令和6年度中は、学校給食食材費補助金を交付することで、保護者負担額を据え置きました。

【令和6年度学校給食費】

区 分	保護者負担額	食材費補助金	食材費合計
小学校	47,300 円	7,680 円	54,980 円
中学校	56,100 円	8,928 円	65,028 円

1 給食は「心の教育」

学校給食に関する指導は、望ましい食習慣の形成及び人間関係の育成をねらいとして、学習指導要領における特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んできました。

さらに、本市のシンボルである草加松原の絵柄を用いた強化磁器食器を使用し、児童生徒のふるさと意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で食器を運び、配膳すること等で、協力し合う気持ちの形成を図っています。

2 計画的な栄養管理

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代にあって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が過多になる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食は、次の点に留意し、実施しています。

- 不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。
- 緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。
- 旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。
- 不必要な食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒に自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成を目指しています。

3 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

4 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。食材について、産地や添加物、アレルギーなどの確認を行い、安全なものを使用することで学校給食の安全と安心の確保に努めています。

5 強化磁器食器の使用

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に本市のシンボルである草加松原の絵柄の強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

6 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜などの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に草加名物であるせんべいや各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、薬物乱用の防止など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育の重要性が増しています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や、疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が、児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断を始めとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生の希望者を対象に、日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を実施し、学童期から「自分の健康は自分でつくる」という自己健康管理の視点を養います。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、平成20年度からは、地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療を実施しています。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防対策をより一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」という時、いつでも・どこでも・だれでもAEDを使用できるよう、草加八潮消防組合と連携し、救命講習会を実施しています。
- (7) 健康診断は、原則着衣として、児童生徒のプライバシーや心情への配慮に努めます。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）を通して、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

「生きる力」を身に付け、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子の実現を目指し、「指導の基」や「草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム」等の効果的な活用を通して、各校の課題研究に対する支援や、教職員の資質向上・指導力向上に資する研修会を実施しています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される草加市教育研究会の要請に応じ、指導主事が各校を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 学校訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校全32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、ジャンプ・アップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修、臨時的任用教員・任期付教員研修、特定研修、人権教育研修等を実施しています。
- (2) 市教育委員会主催：新採用教員研修、3年次教員研修、5年経験者研修、キャリア・アップ研修、臨時的任用教員・任期付教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 草加市教育委員会研究委嘱校・委嘱団体

- (1) 草加っ子生き生きプラン「生きる力プラン」
【研究委嘱校 令和5～6年度】
令和6年11月6日（水）
谷塚中学校区（谷塚小学校・氷川小学校・谷塚中学校）
令和6年11月27日（水）
栄中学校区（栄小学校・松原小学校・栄中学校）
令和7年1月15日（水）
草加中学校（草加小学校・西町小学校・草加中学校）
【研究委嘱校 令和6～7年度】 文書発表
瀬崎中学校区（高砂小学校・瀬崎小学校・瀬崎中学校）
青柳中学校区（川柳小学校・八幡北小学校・青柳中学校）
- (2) 草加っ子生き生きプラン「学びの充実プラン」
【研究委嘱校 令和6～7年度】 文書発表
花栗南小学校「総合的な学習の時間」
八幡北小学校「特別活動」
青柳中学校「特別の教科 道徳」

4 成果

研究委嘱校が、それぞれ学習指導要領の理念や内容についての研究を深め、それらを発表することで、取組が市内の各校に広く周知されました。そのことにより、教職員の指導力の向上が図られ、児童生徒の生きる力の育成につながっています。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

1 目的

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

2 内容

区 分		入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額（月額）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校 専 修 学 校	国立・公立	100,000円	10,000円
	私 立	300,000円	20,000円
短 期 大 学 大 学	国立・公立	200,000円	15,000円
	私 立	500,000円	30,000円

3 令和6年度の取組

次の日程で入学準備金及び奨学資金の貸付について申請を受け付けます。

第1回 令和6年6月3日から7月8日まで【奨学資金（在学者対象）のみ】

第2回 令和6年9月2日から9月30日まで

第3回 令和6年11月15日から12月20日まで

第4回 令和7年2月3日から3月5日まで

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

1 目的

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、草加市において、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

2 内容

対 象	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

3 令和6年度の取組

補助対象者に対し、申請に基づき補助金の交付を行います。

計画的な学校教育施設の整備の推進

1 目標

「草加市公共施設等総合管理計画」「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、計画的に学校教育施設の改修や長寿命化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備していきます。

2 施策・事業の概要

小中学校の施設・設備を計画的に工事・修繕することにより安全な教育環境の維持・整備を図ります。

老朽化の進んだ栄中学校の改築等について関係各課と連携し、計画的に進めます。

3 令和6年度取組

小中学校のブロック塀等改修、谷塚小学校屋内運動場等の照明器具改修、草加中学校給食室の空調改修及び花栗中学校B棟の外壁・屋上改修（Ⅱ期）等の工事を行います。そのほか、緊急性や状況に応じて修繕等の対応も行います。

栄中学校の耐力度調査及び改築等基本構想・基本計画策定等業務委託を行います。

教 育 施 設 の 紹 介

○奥日光自然の家

中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国立公園にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

例年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用していただいております。また、7月から8月にかけて、市内の小学校5年生を対象に、2泊3日で自然教室を開催しています。令和6年度については、令和5年度中に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、通常どおり一般宿泊客の受け入れを行っています。

- ・ 所 在 地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・ 施設概要：宿泊棟4棟（本館、南館、東館、西館）、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室（定員4人）5部屋 洋室（定員6人）5部屋
- ・ 宿泊料金（市内料金）：大人1人1泊1,540円 4歳～中学生770円
- ・ 食事料金：夕食 A 2,750円 B 1,540円 C 1,100円
朝食 820円 昼食 320円

草加市立奥日光自然の家配置

一般利用客宿泊場所（西館）



クリンソウ（6月開花）

至 小田代原 市道1002号線 至 千手ヶ浜



自然教室児童宿泊場所（南館）



市立小学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和6年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 谷口 慎一
児童数 687人 教頭 樫尾 良輝



- ＜教育目標＞
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
～一人ひとりの考えや活動のよさを認め合い、
表現力を育む教育活動の展開を通して～
- ＜重点教科等＞
幼保小中を一貫した教育
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
未来へはばたけやきつ子 ～夢を育む草加小学校～
(2) 取組内容
①教科等の指導
・他者理解を行うために、話を聞く児童を育成する。
・ICT機器を活用する能力を一層育成する。
②生徒指導・教育相談
・いじめ・不登校対策に全力で取り組む。
・管理職、保護者、関係機関との積極的な連携を大切にする。
③学校行事・教育活動全般
・「我がふるさと草加小」を実感させる。
・一人ひとりのよさを見つけ、褒め、鍛え、伸ばす。
(3) 成果
○基礎学力の定着
○児童の体力向上（体力テスト結果続伸）
○道徳学習の充実化（家庭と学校が一体となった豊かな心の育成）
○児童が夢（目標）をもって学習できるよう、教職員が熱心に
取り組んでいる。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 26学級 校長 河野 健
児童数 756人 教頭 吉田 佳恭



- ＜教育目標＞
あかるく かしく たくましく
- ＜研究主題＞
自ら問題意識をもち、共に学び合い、主体的に学ぶ授業の創造
～友達の考えにふれ、算数科の楽しさを感じることができる児童の
育成～
- ＜重点教科等＞
(1) 幼保小中を一貫した教育
(2) 算数科
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
(2) 取組内容
①学力向上
・算数科を中心とした校内研修の充実
・教員同士による授業の見合い（授業参観DAYの実施）
②交流活動の推進
・定期的な交流（近隣保育園等、瀬崎中学校）
・交流給食 親子学校見学会等
③健康・体力の維持・増進
・すくすく委員会（学校保健・安全委員会）の実施
・さわやかタイムの実施（なわとび・朝マラソン）
④読書活動の推進
・図書ボランティアによる読み聞かせ、本の貸出し、環境整備
・年間読書冊数多読者への表彰
・学校図書館内の表示・掲示物の充実
(3) 成果
○子どもたちの頑張りを認める機会が増えたことで、子どもたちが
自信をもって取り組むことができた。
○中学校区内の学校、園等の連携強化を図ることができた。
○教員の指導力向上につなげることができた。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 16学級 校長 嶋田 弘之
生徒数 390人 教頭 小野 敦史



- ＜教育目標＞
よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
- ＜研究主題＞
児童の「なぜ?」「できた!」「もっと知りたい!」を高める
～ 学びがつながる授業の「輪・和・環」～
- ＜重点教科等＞
総合的な学習の時間等
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
(1) キャッチフレーズ
生き生き 元気 とともに伸び育つ 新田っ子
(2) 取組内容
①幼保小中一貫した教育課程の編成
・架け橋プログラムの基盤づくり
・教科横断的な教育課程の実践
②主体的・対話的で深い学びになる実践
・新しい学力観・授業観に立った授業
・図書館教育の充実
③教育的ニーズの対応
・特別支援教育に関する理解促進
・教育相談の充実
④家庭・地域との連携
・学校運営へ必要な支援に関する協議
・健康教育の充実
⑤子どもと向き合う時間の確保
・学校行事の精選
・学校行事の運営の工夫
(3) 成果
○児童の思いや願いを生かすことで、「探究心・共生心・自律心」
の高まりにつなげている。
○HPやメールシステム等を活用し、地域や保護者と情報を共有
しながら、学校の取り組みを行っている。
○「主体的・対話的」で深い学びを実現した授業を展開すること
で、児童の学びを充実させることができています。
○読書に意欲的に取り組む児童が増えている。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 23学級 校長 菅野 光三
 生徒数 635人 教頭 藍原 正明



- <教育目標>
 やさしく つよく かしこく
- <研究主題>
 共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
 ～自己肯定感・自己有用感の育成を柱として～
- <重点教科等>
 国語
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ふるさと ふれあい 谷塚小
- (2) 取組内容
- ①「コミュニケーション能力の育成」を中心とした授業研究
 - ②放課後学習等による学力向上の取組
 - ③複合施設としての利点を活かした教育活動の推進
 - ・施設の活用（クラブ活動・学校行事）
 - ・地域人材の活用（世代間交流・茶道教室等）
 - ④地域・商店街との連携
 - ・町会への協力「七夕かざり」、祭りのパトロール等
 - ・図書ボランティアによる読み聞かせ、学校図書館の環境整備
 - ⑤「8が付く日は谷塚の日」のあいさつ運動
 - ・代表委員と谷塚中学校生徒会、青少年育成推進委員による
 - ⑥リーパーによる学校と家庭の連携
 - ・家庭からの欠席連絡、家庭への連絡に「リーパー」を活用
- (3) 成果
- 元気な挨拶を交わし、学校大好きな児童が増加。
 - 家庭・地域力を生かした特色ある教育活動の充実。
 - ICTの積極的な活用による授業力の向上。

栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 24学級 校長 村田 隆一
 生徒数 633人 教頭 佐々木 和寿



- <教育目標>
 よく考える子 思いやりのある子 ねばり強い子 体をきたえる子
- <研究主題>
 「互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成」
- <重点教科等>
 幼保小中を一貫した教育
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 一人ひとりを大切に、さわやかで、活気あふれ、それぞれの笑顔が
 かがやく学校
- (2) 取組内容
- ①学級・学年経営の充実
 - ・魅力ある学級づくり
 - ・常に一歩前進を目指した学級・学年経営
 - ・学校経営方針を踏まえた教育実践の充実
 - ②学習指導の充実
 - ・研修体制の充実
 - ・魅力ある授業の充実
 - ・読書活動の推進
 - ・家庭学習の充実
 - ③豊かな心を育む指導の充実
 - ・道徳教育の充実
 - ・人権教育の推進
 - ・特別活動の充実
 - ・「いのちの大切さ」を実感する教育の充実
 - ・幼保小中の連携
 - ④健康な体づくりの推進
 - ・体力向上の推進
 - ・感染症防止対策の徹底
 - ・健康の保持増進に係る指導の充実
 - ⑤生徒指導の充実
 - ・積極的・組織的な生徒指導の推進
 - ・いじめの撲滅・解消、不登校の解消
 - ・教育相談の充実
 - ⑥開かれた学校づくりの推進
 - ・地域・家庭との連携の強化
 - ・コミュニティースクールの充実
 - ・幼保小中一貫教育の推進
 - ・積極的な情報発信
 - ⑦特別支援教育の推進
 - ・特別支援教育の充実
 - ・交流教育の充実
 - ・関係諸機関との連携
- (3) 成果
- 幼保小中を一貫した教育の推進により、児童の自己肯定感を高めたり
 自己有用感を育んだりする教育を実践することで、児童の個性を大切
 にし、一人ひとりを大切に教育を実践することができている。
 - 学校運営協議会や平成塾等との連携が充実し、地域に開かれた学校
 づくりを実現することができている。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 22学級 校長 渡辺 真一
 生徒数 531人 教頭 長谷川 淳



- <教育目標>
 かしこく なかよく たくましく
- <研究主題>
 学ぶ喜びを味わわせる国語科授業の創造
 ～ 考えの形成を重視した文学的な文章の指導 ～
- <重点教科等>
 国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と夢あふれる川柳小
- (2) 取組内容
- ①校内課題研修の推進による教職員の授業力向上
 - ②全校業前運動による体力向上（朝マラソン、朝なわとび）
 - ③家庭学習手引きの活用による家庭学習の充実
 - ④児童・教職員が主体的に考え行動できる安全計画の構築
 - ⑤異学年交流活動の充実による自己有用感等の育成
 （川っ子友だち班遊び、一年生を迎える会等）
 - ⑥地域の幼稚園、保育園との授業参観及び交流給食による幼保小
 連携の充実
 - ⑦学校応援団による教育活動支援体制の充実
 （読み聞かせ、下校時の見守り、ミシン学習支援等）
 - ⑧学校運営協議会制度による学校教育の活性化
- (3) 成果
- 校内研修の推進による教職員の授業力の向上
 - 異学年交流及び主体的な学びの充実による自己肯定感・自己
 有用感の向上

瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 21学級 校長 柳田 加代
 児童数 530人 教頭 蘇武 敏行



- <教育目標>
 心豊かで たくましい子
- <研究主題>
 確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる児童生徒の育成
 ～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導を通して
 聞いて 考え 伝え合う～
- <重点教科等>
 総合的な学習の時間・生活科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 まなびいっぱい たくましさいっぱい やさしさいっぱい
- (2) 取組内容
- ①探究的な学習を通してコミュニケーション力やつながりを
 尊重する態度の育成
 - ②ホールスクールアプローチによるESDの推進
 - ③家庭・地域との連携協力
- (3) 成果
- 探究的な学習の実践により、主体的・対話的で深い学びの実践
 - SDGs浸透による「誰一人取り残さない教育」の推進
 - 地域の方々とふれあい推進

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 24学級 校長 鈴木 輝子
 生徒数 616人 教頭 佐々木 紀剛



- <教育目標>
 よく考え 工夫する子 たくましく ねばり強い子
 心豊かで 思いやりのある子
- <研究主題>
 自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
 ～一人ひとりの考えや活動のよさを認め合い、
 表現力を育む教育活動の展開を通して～
- <重点教科等>
 (1) 幼保小中を一貫した教育の推進
 (2) 「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成
 (3) ICTの活用
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
 (2) 取組内容
 ①標準カリキュラムを活用した15年間の学びの確立
 ②草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
 ③「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
 ④読書活動の推進
 ⑤プログラミング教育の推進
 ⑥外国語科・外国語活動の充実
 ⑦デジタル教科書等、ICTの積極的・効果的な活用
 ⑧ネットモラル教育の充実
 ⑨GIGAスクール構想の具現化
 (3) 成果
 ○自己肯定感、自己有用感、他者理解等の育成に向けた指導方法の工夫・改善に取り組むことができた。
 ○外国語科・外国語活動、ICTの活用等、「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成に向けた授業改善に努めた。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
 学級数 23学級 校長 赤坂 佳美
 児童数 633人 教頭 瀧澤 史広



- <教育目標>
 かしこく なかよく たくましく
- <研究主題>
 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童・生徒の育成
 ～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学びの創造～
- <重点教科等>
 国語科・算数科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 にっこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱいの新里小
 (2) 取組内容
 ①学力の向上
 ・「わかる できる学び」と「ともに楽しい学び」の充実
 (個別最適な学びと協働的な学びの一体化)
 ・学びの連続性を意識した授業と家庭学習
 ②豊かな心と規律ある態度の育成
 ・一人ひとりの子どもを大切にしたい学校づくり
 (人権教育・特別支援教育・道徳教育・学級活動の強化)
 ・自己指導能力の育成「時を守り、場を清め、礼を正す」
 ③健康教育の推進
 ・体育科・授業外体育活動の充実
 ・校内環境美化の推進
 (3) 成果
 ○担任が児童個々の学習状況を考慮しながら1年間指導できる土台づくり
 ○自己肯定感・自己有用感を育む活動の充実

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
 学級数 20学級 校長 小林 和美
 生徒数 514人 教頭 早野 裕之



- <教育目標>
 考える子 思いやりのある子 体をきたえる子
- <研究主題>
 学びを深め、互いに協力し、挑戦し続ける子どもの育成
 ～探究力・発信力の向上を目指して～
- <重点教科等>
 生活科・総合的な学習の時間
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 あいさつじまん どくしょじまん そうじじまん
 (2) 取組内容
 ①一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力の育成
 ・学びは子どもの夢と希望の中核
 ②心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 ・一人ひとりが「かけがえのない存在」
 ③人権を大切に教育の推進
 ・自然に笑顔になれること・人も自分も幸せであること
 ・夢や希望がある未来があること
 ④体育的活動の充実と体力の向上の推進
 ・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な体力の向上を図る
 ⑤安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
 ・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
 ⑥地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され信頼を深める特色ある学校づくりの推進
 ・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
 (3) 成果
 ○花栗中学校区の学校の連携を充実させたことで、幼保小中を一貫した教育体制の整備及び児童の自己肯定感が育成された。
 ○地域の方と一緒に取り組んでいる朝のあいさつ運動等により、さわやかなあいさつが定着している。
 ○地域の方々の協力により手話校歌をつくり、児童に浸透している。
 ○家庭・学校・地域が一体となった教育を推進し、児童の生きる力の育成が図られた。

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
 学級数 24学級 校長 寺本 博美
 生徒数 653人 教頭 鈴木 克裕



- <教育目標>
 勉強する子 良い子 強い子
- <研究主題>
 自分の考えを持ち、ともに学び合う児童の育成
 ～「わかる・できる・楽しい」と児童が
 実感できる授業を通して～
- <重点教科等>
 算数・特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小
 (2) 取組内容
 ①「やる気で勉強」
 ・個に応じた教育の推進と確かな学力の育成
 ・GIGAスクール構想の推進
 ・地域に誇れる学校づくり
 ②「はっきりあいさつ」
 ・心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 ・人権を大切に教育の推進
 ③「たくさん運動」
 ・体力的活動の充実と体力の向上
 ・教育活動継続のための健康管理
 ・安全安心で美しく潤いのある教育環境の整備
 ④「生きる力を共に育てる学校・家庭・地域の絆」
 ・PTAとの連携・地域連携・世代間交流・異校種間の連携
 (3) 成果
 ○令和5年度川柳中学校区の研究発表に連携して取り組んだことにより、児童の自己肯定感や自己有用感の伸びが見られた。
 ○年間50冊以上の読書量や学校全体で取り組んでいるビブリオバトル、図書委員会を中心とした読書活動など、さらに読書に親しむ児童が多く見られるようになった。
 ○長年地域を見守り続けていただいた、スクールガーディーとみはるくんのシラコバト賞、市政功労賞の受賞と地域との連携の強さが見られた。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 14学級 校長 野村 真一
児童数 368人 教頭 鈴木 孝夫



- <教育目標>
なかよく かしく たくましく
- <研究主題>
主体的に学びに向かうための授業改善
動く～教室を『客席』から『舞台』へ～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
笑顔いっぱい瞳輝く新栄っ子
(2) 取組内容
①確かな学力を育む教育の推進
・全員参加型の対話的な学習活動の推進
・読書活動の充実（年間35冊以上の取組）
・タブレット型PCの活用による授業改善
②豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進
・あいさつ運動の充実
・多様な体験活動を通じた豊かな心の育成
・花いっぱい活動（植栽ボランティア）
③体力向上・健康教育の継続
・目標を持ち、最後までやり抜く児童の育成
・むし歯治療、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発
(3) 成果
○学校行事や授業公開の実施に対して、保護者や地域の方々から高評価を得ている。
○新栄中学校区統一の取組により、家庭で学習・生活習慣がより定着してきている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 28学級 校長 奥村 勇
児童数 756人 教頭 磯川 剛



- <教育目標>
なかよく かしく たくましく
- <研究主題>
夢や希望をもち、学び続ける子どもの育成
～自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む学級活動の工夫～
- <重点教科等>
特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
『勢い』と『潤い』のある『カラフルな』清門小
(2) 取組内容
①「生きる力」のもとになる「徳・知・体」を育成する清門小
・全教育活動における道徳教育・人権教育・特別支援教育の推進
・草加っ子の学びを支える授業の5か条の定着
・清門小スタンダードの定着
・さわやかタイムによる継続的な体力向上
②「安心・安全な清門小」
・児童の姿が見える校内掲示
・学校安全の日 通学路・不審者・地震等対応
③「家庭・地域とともにある清門小」
・学校運営協議会との連携・協働
・家庭学習チャレンジ週間の推進
・「親子読書デー」の取組
・「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデー」の取組
(3) 成果
○一人一人の児童に寄り添い、個に応じた指導をすることにより、学習意欲を高めることができた。
○特別活動の研究を深め、児童の自己有用感を高めることができた。
○地域・家庭・学校が一体となった教育活動が実施できた。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19学級 校長 平野 修
児童数 452人 教頭 伊藤 真由美



- <教育目標>
自ら学び 心豊かに たくましく
- <研究主題>
自ら学び、共に高め合う子の育成
～教員自身の個別最適な学びと協働的な学びを通して～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
花さく 夢さく 笑顔さく 明日への希望 いなりっ子
(2) 取組内容
●児童一人ひとりを大切にする教育の推進
①学習指導の充実
②生徒指導の充実
③豊かな心と体力づくりの充実
④安心・安全な教育環境の整備・充実
⑤家庭・地域に根ざした教育の充実 ⑥学年・学級経営の充実
●本年度の重点課題：子供と向き合う学校づくり
①児童の学力向上
・校内研修の充実・活性化
・各学力・学習状況調査の検証と改善
・松江中学校区幼保小中一貫教育研究の継承 など
②生徒指導の充実
・根拠のある「自己肯定感・自己有用感・他者理解」の育成
・「いじめを絶対に許さない！見逃さない！」強い意志
・問題への素早い初期対応、丁寧な見守り など
③教職員の「働き方改革」の推進
・定時退勤を促進する取組
・効率的・効果的な仕事の進め方の推奨
・「業務改善提案制度」の実施 など
(3) 成果
○校内授業研究会を回数、内容ともに充実させたことによって、教員の主体的・対話的で深い学びへの理解が深まり、教員各自の専門性を向上させることができた。
○学級経営研修会を複数回実施することによって、教員のカウンセリングスキルの向上や学級経営上の課題の共有ができた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 24学級 校長 中田 順一
児童数 553人 教頭 高橋 康子



- <教育目標>
「学びあい 助けあって 自分を高める」
- <研究主題>
「共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
～自己肯定感・自己有用感の育成を柱として～」
- <重点教科等>
特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
「潤いと響き 子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校」
・子どもが伸びる学校 ・子どもが生き生きと活動する学校
・保護者・地域と共に歩む学校 ・教育環境を大切にする学校
(2) 本年度の重点取組
①子どもたちの学力向上
・全国学調、埼玉県学調、草加市学調の結果分析と指導方法の工夫・改善
②子どもたちの自己肯定感・自己有用感の向上
・令和5・6年度草加市教育委員会委嘱谷塚中学校区「幼保小中一貫教育研究」の充実
・「お子様の『自己肯定感』と『自己有用感』を高めるために」の配布
③家庭・地域社会との連携・協力
・「よくわかる！氷川小学校」の配布
・「ひかわっ子・共育プラン」の配布
・学校ホームページの毎日更新
④外部人材を活用した授業実践
⑤教職員の「働き方改革」・負担軽減の推進
・「氷川小 組織経営計画」と「氷川小 働き方改革グランドデザイン」の推進
(3) 成果
○学校ホームページの毎日更新等により、学校の教育活動の様子を家庭・地域にこまめにお知らせすることができた。
○令和5・6年度草加市教育委員会委嘱谷塚中学校区「幼保小中一貫教育研究」において、特別活動の「学級会」を中心に、児童の「自己肯定感」と「自己有用感」を高めるための効果的な指導方法について研究を深めることができた。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 春日 和久
 児童数 411人 教頭 飯塚 智広



- <教育目標>
 なかよく（徳） かしくく（知） たくましく（体）
- <研究主題>
 子どもたちの互いのよさを発揮し、可能性を広げる特別活動
 ～自己肯定感・自己有用感・他者理解力を育むために～
- <重点教科等>
 特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 共につくる一人ひとりの笑顔あふれる八幡北小学校
 (2) 取組内容
 【徳】①自己肯定感・自己有用感の育成
 ②特別活動の充実
 ・学級活動・児童会活動を通した人間活動を築く力、自治的能力の育成
 ・学校行事を通した児童の育成
 ③道徳教育の充実
 ・個性の伸長 ・親切、思いやり ・相互理解、寛容
 ・友情、信頼 ・よりよい学校生活、集団生活の充実
 ④人権教育の推進
 ・多様性への理解
 【知】①主体的・対話的で深い学び
 ・探求・対話・協働 ・ICTの活用
 ②カリキュラム・マネジメント
 ③総合的な学習の時間の充実
 ④読書活動・読み聞かせ
 ⑤各種学習状況調査の分析・活用 ・北っ子タイム・算数タイム
 【体】①自分の生命を守り育てる
 ・心身の健康 ・安全教育
 ②基本的な生活習慣の確立
 ・早寝早起き朝ごはん ・食育
 ③豊かなスポーツライフ
 ・運動への多様な関わり
 (3) 成果
 ○全教員による諸調査の分析と、段階的な教科担任制に取り組んだことで、教育活動の改善と教育課程全体の質の向上が図れた。
 ○地域の積極的な協力があり、登下校見守りや生活科の学習などを通じて、地域との交流を深めることができた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 20学級 校長 川村 亜希子
 生徒数 456人 教頭 畔上 賀津夫



- <教育目標>
 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>
 誰もが幸福感を感じることのできる教育環境
 ～学校ウェルビーイングをめざして～
- <重点教科等>
 全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 かがやく笑顔 みんなが誇れる長栄小
 (2) 取組内容
 ①「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成
 ・豊かな人間性の育成（道徳的実践力）
 ・確かな学力の育成（考える習慣、学力の素地づくり）
 ・健康・体力の保持増進（生命の尊重・健康教育・食育・安全と体力向上）
 ②幼保小中を一貫した教育課程
 ・新田中15歳の姿の具現化に向けたカリキュラムの試行
 ・教科担任制の実施
 ③『主体的・対話的で深い学び』の実現
 ・自己の変容の気づき、見通しとふりかえりのある授業実践
 ・個別最適な学び、ICTの効果的な活用
 ④特別ではない特別支援教育
 ・就学相談の充実
 ・教育相談の充実（SSW、SCの活用）
 (3) 成果
 ○学力向上プランを見直し、長栄小学校授業のスタンダードを確立したことで、学力の向上が見られた。
 ○組織的な生徒指導を行い、思いやりのある児童の育成を進めることができた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 14学級 校長 須賀 由美
 生徒数 359人 教頭 関 敬之



- <教育目標>
 あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子
 や：やりとげると ぎ：きたえる子
- <研究主題>
 進んで読むことに親しみ、思いや考えを表現する児童の育成
- <重点教科等>
 国語科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 笑顔で登校 明日を楽しみに下校する青柳小学校
 【笑顔が一番】
 ～地域と共に歩む、児童一人ひとりの笑顔を大切にしたい信頼される学校～
 (2) 取組内容
 ①学力向上（やりとげると）
 ・専科教員による専門性の高い教科指導の実施
 ・高学年一部教科担任制による指導の実施
 ・国語タイム、算数タイム、読書タイムの年間実施
 ②体力向上（きたえる子）
 ・校内実技研修会等の実施による教員の指導力向上
 ・やぎっ子タイム（ロング昼休み）を活用した外遊びの奨励
 ③豊かな心（思いやりのある子）
 ・道徳教育の充実 ・特別支援教育の推進
 ・規律ある態度の育成 ・特別活動の充実
 (3) 成果
 ○「わかる・できる・楽しい」授業を展開することにより、教員の指導力向上及び児童の学力向上が少しずつ見られた。
 ○「振り返り」を重視した授業を実施することで、次時の学習への興味・関心が高まることにつながった。
 ○幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 17学級 校長 土屋 貴一
 児童数 425人 教頭 森 太郎



- <教育目標>
 進んで学ぶ子 体をきたえる子 思いやりのある子 ねばり強い子
- <研究主題>
 自ら学びに向かう子どもの育成 ～学力の向上を目指して～
- <重点教科等>
 算数 特別の教科 道徳
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校 ～地域と共に～
 笑顔で登校 明日も行きたくなる学校
 (2) 取組内容
 ①進んで学ぶ子
 ・授業5か条の定着 ・挨拶、返事、姿勢（腰立て）
 ・授業の約束の指導徹底 ・外国語教育の充実
 ・読書活動の充実 ・ICTを活用した授業づくりの充実
 ・はなまる学習コーナーの充実
 ②体をきたえる子
 ・走力、跳力の向上 ・運動量豊富な体育授業の実践
 ・外遊びの励行 ・早寝早起き朝ごはんの励行
 ・学校保健、食育指導の充実
 ③思いやりのある子
 ・道徳教育の発展・深化 ・ハートの日の活用
 ・いじめ防止基本方針の推進 ・言語指導の充実
 ・ていねいな言葉づかい
 ・スマイルタイム（学級力向上）の充実
 ④ねばり強い子
 ・日常的な成功体験の推進 ・5つの「します」の徹底指導
 ・勇気づけ、見届けの徹底 ・児童理解と個に応じた支援
 ・あたたかい言葉かけ
 (3) 成果
 ○埼玉県学力学習状況調査の結果から非認知能力の向上や学力を伸ばした児童の割合の高まりが見られた。
 ○リフレーミングやスマイルアクションの掲示物の作成により、支持的な学級風土の醸成へとつながることができた。

両新田小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 19学級 校長 帆玉 敬一
 児童数 454人 教頭 撰 郁子



- <学校教育目標>
 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
- <研究主題>
 自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童・生徒の育成
 ～「わかる・できる」学びと「ともに楽しい」学びの創造～
- <重点教科等>
 国語科 特別活動
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) スローガン
 学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小
- (2) 取組内容
- ①学習指導の充実
 - ・国語科における基礎基本の定着を目指した授業改善
 - ・「協働的な学習」「個別最適な学び」の推進
 - ・授業規律の確立 ・ICT機器を有効活用した授業実践
 - ②幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・目指す子ども像の共有・実現 ・自己肯定感・自己有用感の育成
 - ・乗り入れ授業の充実
 - ③安全・安心で開かれた学校づくり
 - ・家庭・地域・関係機関との連携の充実
 - ・HPの有効活用
 - ④生徒指導・教育相談
 - ・特別支援教育の充実・積極的・組織的な生徒指導
 - ・教育相談の充実（スクールカウンセラーや関係機関との連携）
 - ・問題行動、いじめの未然防止、早期発見・早期対応
 - ⑤豊かな心の育成
 - ・道徳教育の充実、人権教育の充実、特別活動の充実
 - ・話し合い活動の充実（意見を出し合ったり比べ合ったりする力の育成）
 - ・「優しい言葉」「温かい言葉」での交流の推進
 - ⑥健康でたくましい児童の育成
 - ・体育科授業と体育的諸活動の工夫と充実
 - ・歯磨き指導の充実（フッ化物洗口の実施）
- (3) 成果
 ○両新田中学校区における一貫教育の推進が行われている。
 その結果、自己肯定感・自己有用感を高め授業や自主学習に積極的に取り組む児童が増えた。

松原小学校

創立年月日 平成21年4月1日
 学級数 19学級 校長 佐藤 勇
 生徒数 457人 教頭 山本 武



- <教育目標>
 心身ともに健康で自ら学ぶ子
- <研究主題>
 互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
 ～自己肯定感を高め、自己有用感を実感できる学びの充実を通して～
- <重点教科等>
 国語科、算数科、特別の教科 道徳
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子
- (2) 取組内容
- ①学習活動の充実
 - ・「自分の考えを持つ・伝える」「コミュニケーションを行う」「他者と協力する」能力・態度の育成
 - ②健康な体づくりの推進
 - ・業間休みでの外遊び、ロング昼休み等、外遊びの時間の確保
 - ③季節や自然を感じる俳句づくり
 - ・四季の移り変わりや日常生活の中の景色の美しさを感じる俳句づくりの取り組み
 - ④豊かな心の育成
 - ・自己肯定感、自己有用感、他者理解の育成
 - ⑤幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・15年間の教育活動の意図的、計画的、組織的な推進
- (3) 成果
 ○授業の中で児童が表現する場面と交流する場面を設けることで、互いに高め合い、認め合える児童を育成することができた。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和6年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 20学級 校長 小松 薫樹
生徒数 648人 教頭 市村 耕治



- <教育目標>
目標を持ち、努力する生徒
- <研究主題>
自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) 生徒の目指す学校(スローガン)「あ・か・つ・き」の実践
あ・・・明るい あいさつ(規律)
か・・・活発な かつどう(自主)
つ・・・強い つながり(友情)
き・・・今日を きり開く(向上)
 - (2) 取組内容
 - ①「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
 - ②「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
 - ③幼保小中を一貫した教育の推進
 - ④地域とともにある学校づくりの推進
(コミュニティ・スクールの推進)
 - ⑤「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
 - ⑥多面的・多角的に考える生徒を育む道徳教育の推進
 - ⑦インクルーシブ教育の視点をもつ学校教育の充実
(特別支援教育の推進)
 - ⑧「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
 - (3) 成果
 - 生徒一人ひとりが規律ある学校生活を送り、学習指導に対して意欲的に取り組むことができた。また、部活動では全国、関東大会にも出場するなど文武両道を実践できた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 15学級 校長 大野 正浩
生徒数 459人 教頭 綿貫 稔



- <教育目標>
自ら学び考え行動する生徒(知)
豊かな心を持ち思いやりのある生徒(徳)
健康でたくましい生徒(体)
- <研究主題>
互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高め、自己有用感を実感できる学びの充実を通して～
- <重点教科等>
全教科、全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ
「いいとこ探しの栄中学校」
【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる栄中
 - (2) 取組内容
 - ①自己肯定感、自己有用感を育む学びの確立に向けた授業改善
・補充学習
・言語活動の充実(学び合い・認め合い・高め合い)
・ICT機器の積極的な活用
 - ②生徒指導の充実
・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識
 - ③学校行事の充実
・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
 - ④環境教育の充実
・清掃活動 ・緑化活動 ・さかえ農園 ・制服等リサイクル
 - ⑤豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶 ・人権教育
・いのちの学習 ・道徳教育
 - (3) 成果
 - 幼保小中を一貫した教育の推進により、授業において自己肯定感・自己有用感の向上を意識した授業改善が見られ、各種調査においても一定の向上が見られた。清掃活動や避難所設営市民防災訓練等を実施し、学校・家庭・地域との連携ができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 19学級 校長 森 寿義
生徒数 590人 教頭 清水 孝一



- <教育目標>
学び合う生徒(知) 思いやる生徒(徳) 高め合う生徒(体)
- <研究主題>
共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
ー自己肯定感・自己有用感の育成を柱としてー
- <重点教科等>
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ(目指す学校像)
 - ・生徒の学びを大切に学校(よりよい授業づくり)
 - ・生徒一人ひとりが大切にされる温かな学校(よりよい学級づくり)
 - ・地域に感謝し、貢献する誠実な学校(よりよい地域づくり)
 - (2) 取組内容
 - ①幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・英語での表現活動、総合的な学習「学ぼう!ふるさと草加」
 - ・学級活動(学級会等)と道徳教育(ローテーション道徳)の充実
 - ・ソーシャルスキルトレーニングの実施や不登校・配慮を必要とする生徒への適切な支援
 - ②確かな学力(学力向上)
 - ・授業規律、指導法の改善(ねらいの明確化、振り返りの確保)
 - ・ICTの活用、全国・県・市学力学習状況調査結果の分析と課題への対応
 - ③地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会における情報提供や協議の充実
 - ・各種たより、ホームページ、配信メールの充実
 - ④個に応じた適切な支援
 - ・不登校生徒への積極的な対応(未然防止、初期対応、自立支援)
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした配慮を要する生徒に対する指導や教育相談部を中心とした校内研修の推進
 - ・生徒の特性に合わせた教育措置(特別支援学級での体験入級等)
 - ⑤豊かな心の育成
 - ・さわやか相談員、学習指導補助員、SSW、SCとの連携
 - ・外部機関(児童相談所、子ども家庭課等)との積極的な関係づくり
 - (3) 成果
 - 生徒が互いに認め合い、尊重し、差別することなく共に活動することができるようになってきた。また、生徒会活動も盛んに行われるようになった。
 - 個に応じた適切な対応では、教職員とさわやか相談員、学習指導補助員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の関係も密に取り、適切、組織的に行われるようになった。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 12学級 校長 金塚 和美
 生徒数 350人 教頭 高橋 恒太



- <教育目標>
 賢く 優しく 逞しく
- <研究主題>
 変化の激しい現代社会を生きる力の育成
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学校
- (2) 取組内容
 ①「主体的・対話的で深い学び」の視点の授業改善と学習習慣の確立による学力の向上
 ・「授業の5か条」「学びの5か条」をもとにして、学校組織全体で授業改善を図る。
 ②生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成
 ・全教職員の共通理解に基づいた生徒指導体制を確立する。
 ・校内規律・授業規律(授業規律の5原則)を徹底し、生徒の望ましい生活習慣を育成する。
- (3) 成果
 ○全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。
 ○学校評価や振り返り・アンケート等で、『授業の内容がわかる』『意欲的に学習し、学力向上を目指している』と回答している生徒が84%を超えている。
 ○学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した取り組みが主体的な活動姿勢につながっており、『学校生活が楽しい』という評価が90%を超えている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 21学級 校長 諏訪 太介
 生徒数 670人 教頭 江口 和彦



- <教育目標>
 自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～
 思いやりのある生徒 ～人の気持ちが分かる生徒～
 健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～
 正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任をもつ～
- <研究主題>
 夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成
 ～主体的に学びに向かう力の育成、自己肯定感・自己有用感・他者理解の醸成～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 生徒も教師も「居心地のよい明るく活力のある新栄中学校」
- (2) 取組内容
 ①学習指導
 これからの社会で求められる資質・能力の育成
 ②学年・学級経営
 一人ひとりのよさの視点を定めた承認、激励による生徒との信頼関係の構築
 ③生徒指導・教育相談
 一人ひとりの健全な成長を促し、生徒自らの自己実現を図るための自己指導、能力の育成を目指す生徒指導、生徒指導の一環として生徒の抱える課題解決のための支援を行う教育相談
 ④生徒会活動
 生徒の学校生活の充実・発展やその改善・向上に資する自発的、自治的活動
 ⑤特別支援教育
 一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援とインクルーシブ教育システムの構築
- (3) 成果
 学校行事や部活動、授業などの学習活動を通して、生徒の自己肯定感・自己有用感が育ってきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 20学級 校長 小野 陽子
 生徒数 638人 教頭 宮本 雅章



- <教育目標>
 自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
 「ま」・・・学び続ける生徒
 「つ」・・・強い体をもつ生徒
 「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒
 「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒
 「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒
- <研究主題>
 確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
 ～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導を通して～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動
 ⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校
- (2) 取組内容
 ①学力向上 瀬崎スタイルの確立
 ・わかる・できる・伸びる授業・基礎学力の定着
 ・定期的なコンテストの実施(表彰)・テスト前学習の充実
 ②ステップアップルームの設置
 ・学習指導で不登校対策・個に寄り添った指導
 ・いじめは許さない!指導・道徳教育と教育相談体制の確立
 ③特別支援教育の充実
 ・特別支援教育の視点で個に応じた指導、支援の具体化
 (自立を目指した教育への共通理解・全職員で!)
 ④新形式のホームページの分担体制を図り、随時更新
 ・HP情報発信・開かれた学校づくり
 ・学校だより等、保護者・地域への発信
- (3) 成果
 ○基礎学力向上、「基礎・基本」定着のために、長期休業中や定期試験前の補充学習、3教科学力コンテストによる基礎学力の向上、予習・復習等の家庭学習習慣の確立、毎時間のドリル学習を行い徐々に成果が上がってきている。
 ○学校、家庭、地域が一体となって校則改定について考えたり、地域と協力した防災訓練を行うなど、地域との協力関係を強めることができた。
 また、学校の各種行事やHP情報や各種便りなどの情報配信メールの活用を行うことができた。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 14学級 校長 笠井 誠司
 生徒数 414人 教頭 竹原 英里



- <教育目標>
 自ら考え、心豊かに、たくましく生きる
 ・自ら学ぶ生徒(知)
 ・豊かな心を育てる生徒(徳)
 ・心身共に健康な生徒(体)
- <研究主題>
 自ら考えを深め、より良く学び合う生徒の育成
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 ①「信頼」と「和」に基づく教育を推進する学校
 ・生徒同士の「和」
 ・生徒と教師の「信頼関係」
 ・保護者と教師との「信頼」と「協力」
 ・職員間の「和」と「協働」
 ・地域と共にある学校
- (2) 取組内容
 ①メンタルヘルス研究推進校(R3～R6)
 ②今年度の重点
 ・「自ら学ぶ生徒」を育成する授業改善
 ・「豊かな心を育てる生徒」を育成する活動の充実
 ・「心身共に健康な生徒」を育成する生徒指導・特別支援教育の推進
 ・幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 ・地域と共にある学校作りの推進
- (3) 成果
 ○様々な教育活動を通して、特に個別最適な学びや協働的な学びの充実から、生徒一人ひとりの安心安全を確保し、落ち着いた学校づくりが推進された。
 ○また、メンタルヘルス研究推進校としての数年間の取組を活かし、中学校区の各小学校との職員間交流を通して、教育相談を活性化させることができた。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 18学級 校長 本間 錦一
 生徒数 520人 教頭 矢野 博之



<教育目標>

【自ら学び 心豊かに たくましく】

- 自ら学び (知)
 - ・自分の考えをもつ ・正しく判断し行動する ・目標をもち努力する
 - ・基礎的、基本的な知識や技能を必要に応じて柔軟に活用できる
- 心豊かに (徳)
 - ・互いの良さや努力を認め合う ・態度や行動に示し主体的な実践をする
 - ・多くの人に支えられていることを自覚し、他の人に思いやりをもって親切にできる
- たくましく (体)
 - ・困難を克服する力や健やかな体を目指す 規則正しい生活習慣確立
 - ・体力向上に努め、あきらめず、粘り強く、物事に取り組む

<研究主題>

生徒の自主性を引き出す、魅力ある「わかる」授業づくり

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) めざす学校像

生徒一人ひとりを大切にし、夢と絆を育み、笑顔あふれる学校
 「最初を」大事にする学校

(2) 取組内容

- ①生徒一人ひとりに基礎基本を定着させる
 ～生徒理解に基づく指導と評価の実践～
- ②生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出す
 ～生徒に内在するものを引き出す教育力～
- ③生徒一人ひとりの命と健康を守る
 ～共助の学びと絆づくり、安全、安心な学校～

(3) 成果

○令和5年度に実施した学校評価（保護者）の「学校は一人ひとりの生徒を大切にしている」の達成度は78.6%、「学校は子どものことについて家庭と連携をとっている」は81.7%と高い評価を得ることができ、学校と保護者が連携を図りながら一人ひとりの生徒を大切にした指導を行うことができた。また、「子どもは楽しく学校に行っている」は84.4%、「子どもはルールや約束を守って生活している」は84.8%と、高い達成度を得ることができ、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 15学級 校長 遠藤 淳一
 生徒数 421人 教頭 神田 研二郎



<教育目標>

豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒

<研究主題>

主体的・対話的で深い学びの実現、社会に開かれた教育課程の実現
 ～学びの生活化・社会化～

<重点教科等>

全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) めざす学校像

大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校

(2) 取組内容

- ①学ぶ意欲が向上する学校
 - ・主体的・対話的で深い学びの追求
 - ・基礎・基本の習得と活用
 - ・一人ひとりのフォローアップの充実
- ②豊かな心が育成する学校
 - ・居場所がある環境づくり
 - ・いじめや不登校のない学校づくり
 - ・特別の教科 道徳の授業の充実
 - ・特別活動の充実
- ③心身が健康でたくましい生徒を育成する学校
 - ・保健体育、性教育、安全教育、防災教育の推進
 - ・望ましい食生活の形成と食事環境の充実
 - ・生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
 - ・体育授業、部活動での体力向上
- ④中学校区の幼保小中が連携した学校
 - ・幼保小中を一貫した教育の「草加っ子夢プラン」研究の継続
 - ・ベアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
 - ・幼保小中を一貫した授業研究の実施
 - ・学校運営協議会、地域懇談会の充実した運営

(3) 成果

○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心が一層育まれてきている。また、多くの生徒に自主性が育まれ、生徒一人ひとりが自己存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 16学級 校長 鈴木 英治
 生徒数 505人 教頭 石橋 一洋



<教育目標>

自ら考え実践する生徒 (知)
 心豊かで思いやりのある生徒 (徳)
 健康でたくましい生徒 (体)

<研究主題>

自他を認め合える生徒の育成
 ～考え議論する道徳を通して～

<重点教科等>

道徳、生徒指導・教育相談の充実

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒

(2) 取組内容

- ①自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
 - ・自己肯定感・自己有用感、他者理解力育成の追求
- ②心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
 - ・生徒会活動・学校行事の充実
- ③健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
 - ・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
- ④幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 - ・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
- ⑤地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会を中心としたコミュニティースクールの実施

(3) 成果

○ICT等を効果的に活用し、基礎基本が徐々に定着し、深い学びにつなげることができた。
 ○行事等を通して、行動規範が身に付き、コミュニケーションを良好に保つことができた。
 ○部活動に積極的に参加することで心身の健全な発達が図られた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 14学級 校長 須賀 達也
 生徒数 416人 教頭 橋本 哲



<教育目標>

ま : 学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >
 つ : 強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >
 え : 笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >

<研究主題>

自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～ (4年次)

<重点教科等>

全教科・全領域

(自己肯定感・自己有用感・他者理解の充実を通して)

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

家庭で慈しみ 学校で教え 地域で育む
 生徒の笑顔に指導の成果を求めて!!

(2) 取組内容

- ①子どもへ達成感と充実感
 - ・教師一人ひとりの授業力の向上
 - ・集団活動を通した豊かな人間性の育成
- ②子どもの居場所づくり
 - ・共感的な人間関係の育成
 - ・教育環境の整備
- ③「幼保小中を一貫した教育」の継続・推進
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の研究推進
- ④生徒の具体行動「松中PRIDE～I LOVE MATSUE J.H.S～」の推進
 - ・感謝 敬愛 礼儀 正義 自律 努力 の育成

(3) 成果

○達成感と充実感を味わわせる授業を行うことで、子どもたちの意欲が高まり学力が確実に伸びている。
 ○「共感的理解」を大切にしなが授業や学校行事等を充実させることで、豊かな心を育み良好な人間関係が築け、絆が強まり子どもが楽しく学校生活を送ることができている。

Ⅲ 生涯學習

学びの成果が発揮される生涯学習の推進

1 生涯を通した多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、草加市教育振興基本計画の進捗状況の検証、生涯学習が直面する諸問題について協議し、草加市としてふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、講座や教室への参加申し込み、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能をもち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習の各分野において専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	体験講座数
R3	88 人	33 回
R4	82 人	36 回
R5	84 人	43 回

(4) サークルガイドブック『マイ・ステージ』の発行

市民への生涯学習情報発信のため、市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年度で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

建学の精神「学びを通してのきずな形成」のもと、「自分をつくる・人と出会う・まちをつくる」ことを目的とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジ及び上野学園短期大学の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

生涯学習の分野ごとに活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
R3	340 団体
R4	366 団体
R5	350 団体

(8) 二十歳のつどいの開催

社会を担う一員としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと意識を高め、地域貢献の心を育む機会として、二十歳のつどいを開催します。

(9) 子ども大学そうかの開講

子どもの学ぶ力や生きる力を育み、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、獨協大学との共催により開講します。身近なテーマについて、大学教授や専門家が楽しく、分かりやすく講義します。

(10) 平成塾の管理運営

地域の高年者のふれあいや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援します。

(11) 栄小学校一般開放施設の管理

栄小学校一般開放施設について、施設の適正な維持・管理を図ります。

2 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

公民館・文化センターについて、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としていた公民館・文化センターまつりを4年ぶりに開催しました。

文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

1 文化財の保存・活用

指定・未指定を問わず、地域の貴重な文化遺産を将来にわたって保存・活用していくため、職員による日常的なパトロールのほか、文化財防火デーに合わせた消防訓練・防災指導を、地域や草加八潮消防組合の協力のもとに実施しています。

また、市内小学校1年生への『草加お宝かるた』の配布や『学ぼう！ふるさと草加』を活用した子ども教育への支援を続け、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りの醸成を図っています。

2 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

3 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画』に基づき、末永く草加松原の保存・活用が図られるよう努めます。

また、保存・活用を図るために策定した『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画』に基づき、草加松原のもつ本質的価値を損なわず、必要な整備を計画的に実施するよう努めます。

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,255.55m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

令和6年度主要事業：伝統文化教室、土曜事業、子ども体験教室、にじいろタイム、成人文化講座、高年者健康リズム体操教室、チャレンジ！シニア講座、ムーンライトコンサート、青少年コンサート、ブリリアントコンサート、中央公民館美術展、中央公民館まつり ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月

(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

令和6年度主要事業：県民の日柿木なんでも知って見隊ジュニア、子ども文化講座、子ども体験講座、自然観察教室、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、成人文化講座、大人の社会科見学、柿木の芸術家たち展、はつらつ元気体操教室、柿木公民館まつり ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330.68m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

令和6年度主要事業：谷塚子ども発明教室、星空観察教室、県民の日体験事業、夏休み子どもわくわく教室、SDGsリボベジ講座、子育て学級（すくすくクラブ）、高年者学級「コスモス」、谷塚文化センターまつり、はつらつ元気体操教室、草加南高校文化部合同発表会 ほか

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,294.00m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	—
会議室	50		
実習室	30	託児室	—

令和6年度主要事業：夏休み子ども体験教室、子ども収穫体験講座、成人体験講座、自然を楽しむ教室、伝統食の講座、SDGs人権講座、粋生き教室、高年者ICT講座、川柳文化センターまつり、川柳音楽会、音楽と文化のまちづくり講座 ほか

【新田西文化センター】

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,225.48m²

敷地面積 2,136.79m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和6年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、謎解きゲーム、家庭教育学級、ボッチャ体験会、高年者学級「笑いのつどい」、高年者のびのびサロン、伝統芸能発表会、新田西文化センターまつり ほか

【新里文化センター】

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

FAX番号：920-1504

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,373.48m²

敷地面積 2,373.38m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書・学習室	—
第3会議室	40	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和6年度主要事業：夏休み子ども事業、あそびの達人、どんぐり子ども会、教養文化講座、のびのび広場、すくすくクラブ、高年者学級、新里ほっこり村、はつらつ元気体操教室、新里スプリングフェスタ、新里文化センターまつり ほか

○博物館類似施設

〔歴史民俗資料館〕

開館年月：昭和58年11月

所在地：草加市住吉一丁目11番29号

電話番号：922-0402

FAX番号：922-1117

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 696.44 m²

敷地面積 762.00 m²

資料収蔵数 3,415点（令和5年度末）

来館者数の推移

年度	人数
R3	9,651人
R4	11,997人
R5	10,620人

令和6年度企画展示：「端午の節句展」、「日光道中草加宿と参勤交代（仙台藩（伊達家）を中心として）」、「こどもたぬき絵作品展」、「古墳時代の草加地域について」、「桃の節句展」

令和6年度子ども向け体験事業：「たぬきちょうちんを作ろう」、「七夕かざりを作ろう」、「大昔の生活を体験しよう」、「ガリガリトンボ作り」、「竹みずでっぽう作り」、「藍染めハンカチ作り」、「昔の道具を使ってみよう」、「まが玉作り」、「和風作り」、「昔遊び大会」、「おひなさまを作ろう!」、「草加せんべい手焼き体験」

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管、調査・研究、展示・公開することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和58年11月に開館しました。

建物は、大正15年（1926）に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられているなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。

平成20年10月には、「造形の規範となっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録となりました。

令和元年11月13日には来館者30万人を達成し、令和5年度末現在の累計来館者数は、34万4,865人となりました。

草加市立中央図書館

1 施設の概要

開館年月	平成12年4月1日
所在地	草加市松原一丁目1番9号
電話番号	946-3000
FAX番号	944-3800
構造・面積	鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建 専有面積4,803.54㎡ 1階 玄関ホール、ブックポスト 2階 事務室、ボランティア室、集会室、閉架書庫 3階 展示ギャラリー、一般室 4階 児童室、おはなし室、多目的ホール ※ その他 屋上庭園約1,000㎡有

2 令和6年度 図書館運営方針

市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、市民が抱えている課題を解決できるように、地域の情報拠点としての役割を果たします。また、教養、調査研究、レクリエーションの三つを施設目的として掲げる図書館法に基づき、事業計画に掲げる6つの事業を柱として個々の取組を推進します。なお、令和6年度は草加町立図書館が創立されてから100年を迎える年となるため、様々な記念事業を実施します。

3 令和6年度 取り組み内容

(1) 図書館資料や情報の充実及び効果的・効率的な提供

魅力ある資料や情報の整備に加え、公民館図書室や地域開放型図書室等を結ぶ図書館ネットワークや電子図書館等、図書館サービスの利用方法を周知するとともに、地域で読み聞かせ等を行うアウトリーチサービスの実施により、図書館サービスの利用を促進します。

(2) 郷土資料等の充実

奥の細道やドナルド・キーン氏等、草加にゆかりのある資料の収集に努め、郷土資料の充実を図り、資料の紹介を行います。

(3) レファレンスサービスの充実

市民の生活課題や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンスサービスの利用方法を周知し利用を促進します。レファレンス事例の公開やWi-Fiを導入した持込み端末利用席等の周知により、利用者自身で調査や解決ができるように支援します。

(4) 誰もが使いやすい図書館づくり

全ての市民が図書館サービスを利用しやすいように、バリアフリーサービスや多文化サービスの充実を図るとともに、市役所本庁舎に電算システムを導入し、新たな図書館サービスポイントを整備します。

(5) 読書や図書館の魅力を伝える活動の推進

草加町立図書館が創立されてから100年を記念して、講演会、企画展などの文化事業を実施し、市民に読書や図書館の魅力を伝えます。

(6) 子ども読書活動の推進

令和6年度からスタートする「第二次草加市子ども読書活動推進計画」の推進に当たり、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアとの連携を強化し、子どもの発達段階や状況に応じた読書に親しみやすい環境を充実させます。

【令和5年度利用状況】

1 入館者数・登録者数

(単位：人)

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
301 日	322,591	68,494	391,085	38,390	9,749	10,434	58,573

※個人情報の適正な管理を行うため、令和2年2月1日から
個人利用カードの有効期間を交付の日から5年としました。

2 場所別・資料種別蔵書数

(単位：点)

区分	図書			雑誌	AV資料					電子書籍	合計
	一般書	児童書	小計		CD	カセット	VHS	DVD	小計		
中央図書館	384,759	80,122	464,881	13,856	9,388	0	27	2,100	11,515	—	490,252
公民館・文化センター	18,685	20,446	39,131	178	—	—	—	—	—	—	39,309
地域開放型図書室・サービスコーナー	12,813	65,699	78,512	—	—	—	—	—	—	—	78,512
草加市電子図書館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7,207	7,207
合 計	416,257	166,267	582,524	14,034	9,388	0	27	2,100	11,515	7,207	615,280

3 貸出数

(単位：点)

中央図書館					公民館・文化センター	地域開放型図書室	サービスコーナー	草加市電子図書館(電子書籍)	合計
一般書	児童書	雑誌	AV資料	計					
424,901	202,821	22,017	19,856	669,595	114,480	12,698	151,902	29,302	977,977

4 館内設備等利用状況

(単位：件)

区分	持込み端末利用席 (Wi-Fi 席)	拡大読書器利用席	インターネット用 パソコン利用席	予約		リクエスト
				図書・雑誌 AV資料	電子書籍	
利用件数	8,375	2	1,845	156,017	10,652	7,263

第二次草加市子ども読書活動推進計画 ～笑顔かがやく草加っ子読書プラン～ (令和6年度～令和9年度)の概要

これからの社会に必要とされる「生きる力」を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は必要不可欠です。本計画では、子どもたちの「生きる力」を育むよう基本理念を設定し、それを実現するため、また、SDGsで掲げている「質の高い教育をみんなに」「平和と公正をすべての人に」「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に貢献するために、三つの基本方針を定め、子ども読書活動の推進に取り組んでいきます。



基本理念	いつまでも心に残る本との出会いを通して、草加っ子の「生きる力」を育みます。
-------------	---------------------------------------

基本方針1	子どもの発達段階や状況に応じた読書に親しみやすい環境を充実させます。
--------------	------------------------------------

- 施策1-1 家庭及び地域における読書の機会の充実
- 施策1-2 学校における読書の機会の充実

基本方針2	子どもの読書活動を推進する意義や取組等を広報・啓発します。
--------------	-------------------------------

- 施策2 「子ども読書の日」「読書週間」を中心とした読書活動の啓発の促進

基本方針3	子どもが読書に親しむための推進体制を充実させます。
--------------	---------------------------

- 施策3-1 関係者間の情報の共有化と図書館ネットワークの充実
- 施策3-2 市民ボランティアや地域文庫等とのネットワークづくり

成果指標	区分	R5実績値	R9目標値
①読書が「好き」「どちらかと言えば好き」の回答を合わせた比率	子ども	80%	90%
	保護者	78%	80%
②1か月に読む本が「0冊」の回答率（不読率）	子ども	23%	13%以下
	保護者	48%	40%以下
③「読んでよかった本がある」の回答率	子ども	88%	90%

令和5年度『ビブリオバトル・草加の陣』を実施しました

1 目的

市内の小学生・中学生の参加により、感動した本や素晴らしいと実感した本を互いに薦め合い、読書の楽しさを啓発し合うビブリオバトルを実施し、子どもたちの発表力を高め合いながら読書活動の推進を図りました。

2 主催

草加市立中央図書館、図書館・文化を見守る会

3 開催日時・場所

令和5年11月11日（土）午後3時～午後5時

中央図書館多目的ホール

4 対象

- (1) 小学校中学年の部：小学校3・4年生
- (2) 小学校高学年・中学生の部：小学校5・6年生及び中学生

5 発表者

令和5年度の草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」研究委嘱校

新田小、長栄小、新田中 計3校の児童・生徒10人

6 チャンプ本の決定方法

すべてのバトルの発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として、一般参加者に投票していただき、後日出場校以外の小中学校教員が映像を視聴した後に投票（各校1票）し、会場の票と合わせて最も多く票を集めたものを「チャンプ本」に決定しました。

小学校中学年の部		小学校高学年・中学生の部	
書 籍	5文字で四字熟語	書 籍	ザ・パーフェクト
著 者	すどうけんたろう／著	著 者	土屋 健／執筆
出版社	講談社	出版社	誠文堂新光社

うちどく

家読推進！！赤ちゃんと保護者対象『家庭向け読み聞かせ講習会』を開催しました

子育て経験のある『読書ボランティア連絡会』の皆さんの協力により、0歳から1歳の赤ちゃんと保護者に、絵本の読み聞かせやわらべうた、手遊び等で楽しいひと時を過ごしていただきました。家庭での読書につながるように、終了後に年齢に合った絵本やブックリストをお渡ししました。

（参加者：令和5年5月 8組20人、令和5年11月 8組20人）

IV 人 權 教 育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体を通しての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身に付けるとともに、自他の大切さを認め、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体を通して一人ひとりを大切にする指導の在り方についての研究を推進しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれのない、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 新採用教員人権教育研修会
- ④ 3年次教員人権教育研修会
- ⑤ 5年経験者研修会
- ⑥ キャリア・アップ研修会
- ⑦ 臨時的任用教員・任期付教員研修会
- ⑧ 学校管理職人権教育研修会
- ⑨ 人権教育校内研修会
- ⑩ 人権を考える市民のつどい
- ⑪ 草加市人権文集「なかま」の発行
- ⑫ 草加市人権標語ポスターの作成
- ⑬ 現地研修会の開催 ほか

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題を始めとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会、研修会の開催

講演会、研修会等を開催し、また、草加市人権教育推進協議会を始めとした団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進が図れるよう努めています。

- ① 人権を考える市民のつどい
- ② 企業内人権・同和問題研修会
- ③ 現地研修会の開催 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題を始めとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置された施設です。その運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行っています。

① 子ども教室、女性教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。

② 吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表のほか、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。例年3月頃に吉町集会所まつりを開催します。

③ 埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）への参加

埼玉県教育集会所連絡協議会主催による埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）に、吉町集会所利用団体が参加し、県内集会所及び隣保館利用団体との交流を図ります。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月 : 昭和58年4月

所 在 地 : 草加市吉町三丁目9番24号

構 造 ・ 面 積 : 鉄骨造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 578.63 m²

V 資 料 編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年 度	月 日	主 な こ と が ら
昭和 6 1	4 月 1 日 6 月 7 日 8 月 1 0 月 1 日 2 月 2 0 日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編 奥日光自然の家を開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 財草加市体育協会が設立 遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊図像月待板碑を市指定文化財に指定
6 2	7 月 3 1 日 8 月 1 日 8 月 2 5 日	青少年健全育成市民会議が発足 語学指導助手を初めて採用 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
6 3	8 月 2 1 日 8 月 2 2 日 1 0 月 1 5 日 1 1 月 1 日 1 1 月 5 日 1 1 月 1 3 日	新栄中学校、第 1 8 回全国中学校バスケットボール大会で優勝 花栗中学校、第 1 8 回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝 草加市民管弦楽団が発足 新草加市民憲章・草加市歌を制定 第 1 回奥の細道国際シンポジウムを開催 中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7 月 7 日 8 月 2 1 日 1 1 月 2 4 日	草加平成塾を開塾 長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加 第 1 回国際ハーブ・フェスティバルを開催
2	7 月 2 日 8 月 2 5 日	栄平成塾を開塾 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4 月 1 日 8 月 2 4 日 7 月 1 8 日	社会教育課を、生涯学習課と改称 清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新田平成塾を開塾
4	8 月 2 9 日 9 月 2 4 日 9 月～	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加 両新田平成塾を開塾 学校週 5 日制（月 1 回）を実施
5	6 月 2 2 日 1 0 月 1 8 日	音楽都市を宣言 八幡北平成塾を開塾
6	8 月 2 3 日 1 1 月 7 日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新栄平成塾を開塾
7	4 月～ 8 月 2 2 日 1 1 月 3 0 日	学校週 5 日制（月 2 回）を実施 稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加 瀬崎平成塾を開塾
8	8 月 2 4 日 1 1 月 2 6 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 小山平成塾を開塾

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 9	8月20日 10月31日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 氷川平成塾を開塾
10	8月22日 11月1日 10月28日 3月1日 3月19日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 清門平成塾を開塾 札幌河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定 青柳平成塾を開塾 市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定
11	4月1日 8月 11月5日	特色ある学校づくり推進事業を開始 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 長栄平成塾を開塾
12	4月1日 8月20日 11月15日 2月26日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転
13	4月9日 8月26日	草加市立中央図書館、来館者100万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
14	4月1日 5月8日 8月7日 8月24日 9月1日	学校教育部・生涯学習部を新設。併せて、指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週5日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度が市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
15	4月26日 4月 8月19日 9月1日 9月17日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校、新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
16	4月 7月10日 8月1日 8月24日 9月1日 ～10月29日 10月1日 10月6日 10月24日 ～27日	川柳小学校、新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまるよくシステム）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体－相撲競技」を開催

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 16	3月21日 3月	冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成 草加市生涯スポーツ振興計画を策定
17	4月 6月12日 7月 8月27日 9月 1日 9月 3日 9月29日 9月 10月28日 11月13日 11月 12月 1日	教育に関する3つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎・基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設20周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施。撤去等安全対策に着手 草加中学校の体育館・給食棟が竣工 綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開 不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手 獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始
18	4月 7月26日 7月～ 8月27日 8月～ 1月22日 3月15日	中学校学校選択制を導入 学校給食調理業務委託を中学校2校において実施 小学校22校区内にスクール・パトロールステーションを設置 草加中学校体育館の一般開放を開始 綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定 算数・数学学力向上プロジェクト「寺子屋事業」の開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加宿開宿着手400年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団 in 草加、絵画展、俳句展等） いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙行
19	4月 1日 4月 9日 4月24日 4月 8月28日 8月 9月 10月 1日 3月	草加市教育相談室を、草加市教育支援室に改称 谷塚小学校、新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始 全国学力学習状況調査を実施 学校給食調理業務委託を新たに中学校2校で実施 AED（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 市内6小学校区で放課後子ども教室を開設 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターを開設 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会を設置

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 20	4月 1日 6月 8月20日 9月 10月23日 12月 3月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設。体育課を市長部局に移管 業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設 小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けた計画を策定 市制50周年記念事業「子ども議会」を開催 「草加っ子土曜寺子屋」の新設 歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足50周年記念誌『草加の教育50年の歩み』を発行
21	4月16日 4月 7月 8月 9月 6日 10月 11月12日 3月31日 3月	市内小中学校の耐震診断結果を公表 松原小学校が旧花栗小学校で開校 高砂小学校、新校舎で授業を開始 新型インフルエンザが猛威を振るい、7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患 瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設 新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 高砂小学校で地域開放型図書館を開設 高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成22年7月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成22、24、25、26年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備
22	4月 1日 8月28日 11月11日 11月 3月11日 3月	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市立中央図書館開館10周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 草加市文化財保護基本計画を策定 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生。児童生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施。各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設。食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施 松原小学校、新校舎が完成
23	4月 8日 6月 8日 8月28日 9月 11月～ 12月26日 2月 3月	松原小学校、新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 24	4月 1日 6月 1日 8月20日 ・21日 8月25日 8月 9月 3月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成25年3月31日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技団体に3位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加。主催の草加市青少年相撲振興会創立30周年を記念し、土俵入りを披露 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄小学校、校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
25	4月 1日 6月21日 6月～ 8月28日 8月30日 11月 1日 12月 1月24日 2月 3月18日 3月31日 3月	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設4会場に加え、市内小学校全校で開催 いじめ撲滅サミット」を開催 谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校、新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「目指す『草加っ子』（草加市幼保小中教育モデル指針）」「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」を策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして国の名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定
26	4月 1日 4月 8日 5月24日 7月～ 7月 8月30日 2月 3月 7日	新里文化センターが開館 栄小学校、新校舎で授業を開始 草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催 市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 「目指す『草加っ子』（草加市幼保小中教育指針）」「草加市幼保小接続期プログラム」「草加市小中連携プログラム」を策定 草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識（記念碑）を建立。同日、除幕式典を開催
27	4月 1日 7月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度へ移行 青柳小学校・小山小学校・八幡小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 27	8月30日 11月22日 2月	川柳小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、 「いのちの絆をつなぐ教育」として豊かな心推進事業講演会を開催 第二次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を 策定 第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画、草加っ子 にこここわくわくプラン（草加市乳幼児期保育・教育課程）、 草加市小中学校教育課程指導資料（算数・数学）を策定
28	4月 1日 6月24日 7月 8月23日 8月24日 ・25日 10月16日 11月24日 2月 2日 2月 3月	施設課を、総務企画課施設係に改編 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を挙行 新田小学校・花栗南小学校・八幡小学校が試行として姉妹都市の 福島県昭和村への自然教室を実施 草加中学校で夏休み草加っ子相撲を開催 栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技男子団体に優勝 中央図書館で小学生によるビブリオバトルを開催 新田中学校区小中一貫教育研究発表会を開催 川柳中学校区小中一貫教育研究発表会を開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム7教科等を策定 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画を 策定
29	4月 1日 4月 7月 8月22日 12月 1月26日 2月 3月	草加市教育委員会と獨協大学との教育支援連携協定を締結 全中学校区で小中一貫教育を開始 第三次草加市生涯学習基本計画「生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか」を策定 西町小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム全教科等を策定 草加中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 『れきみんだより』創刊 草加市子ども読書活動推進計画を策定 草加市学校施設整備基本方針を策定 草加市文化財保護指針を策定
30	4月 7月10日 ～9月2日 10月31日 11月 1日 11月10日 1月17日 1月24日 1月30日 2月	全中学校区で幼保小中を一貫した教育を開始 歴史民俗資料館で市制施行60周年記念企画展「草加市誕生」を 開催 青柳中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 市制施行60周年を記念して図録『草加市誕生』を刊行 市制施行60周年記念事業「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 瀬崎中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 松江中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 2019年度版幼保小中一貫教育標準カリキュラムを策定

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 30	3月 3月16日 ～4月10日	草加市幼保小中一貫教育プログラムを策定 歴史民俗資料館で名勝指定5周年記念企画展「『おくのほそ道』 から草加松原へ」を開催
令和 元	6月 1日 7月 8月22日 8月 9月14日 9月28日 9月 11月13日 11月22日 11月27日 1月23日 1月28日 3月 2日 3月 4日 3月	一周忌追悼講演会「ドナルド・キーン先生とほそ道と草加」を開催 市内小中学校の特別教室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 高砂小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画を 策定 「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 PTA連合会創立60周年式典開催 市内小中学校の給食室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 歴史民俗資料館で来館者30万人を達成 新栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 谷塚中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 両新田中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 花栗中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を 開催 第三次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定 草加市生涯学習推進指針を策定 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府による学校休業の 要請を受け、小中学校の臨時休業開始 社会教育施設一般利用の休止開始 第三次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を 策定
2	4月 1日 4月 8日 8月 5日 8月25日 11月14日 1月11日 1月28日 3月	草加市立中央図書館開館20周年 総務企画課を、総務企画課及び学校施設課に改編 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月31日まで小中 学校臨時休業 草加市立中央図書館、リニューアルオープン 草加市立中央図書館、空調設備等改修工事完了 (工期：令和元年12月19日～令和2年8月25日) 草加市立中央図書館、開館20周年記念事業を開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新成人のつどいをオン ラインにより開催 令和2年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施 草加市立中央図書館、開館20周年記念誌を発行 市内小中学校7校の体育館へのエアコン設置が完了し、稼働開始 草加市学校施設等長寿命化計画を策定
3	7月 1日 7月 7日 8月19日 ～21日	高砂小学校4年生が、コロンビアのパラリンピック選手とオン ラインで交流 オリンピックの聖火が、国指定名勝「草加松原」を走る 栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技男子団体が優勝

年 度	月 日	主 な こ と が ら
令和 3	9 月 1 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月30日まで小中学校短縮授業、自宅でのオンライン学習を併用
	9 月 1 1 日	そうか公園で開催の浦和レッズ・ハートフルサッカーで市内の小学生がプロ選手と交流
	1 0 月 1 日	子どもたちの声による「下校時見守り放送」開始
	1 0 月 1 4 日	須田家住宅（中屋）土蔵・久野家住宅店舗が国の登録有形文化財に登録
	1 0 月 2 0 日	現中央公民館、開館40周年
	1 1 月 1 日	歴史民俗資料館、「れきみんブックレット」を創刊
	1 1 月 1 5 日	柿木公民館、優良教育施設として埼玉県より表彰
	1 1 月 1 6 日	瀬崎中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	1 2 月 4 日	地元の食材で調理した高砂小学校の給食が全国学校給食甲子園で優秀賞を受賞
	1 月	草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを策定
	2 月 1 日	青柳中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	2 月 1 0 日	草加中学校区・川柳中学校区による「草加っ子 読書活動推進プラン」に関わる研究発表会の中で令和3年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施
	3 月 2 4 日	清門小学校の卒業式で、卒業生が手話で校歌斉唱
	3 月	市内小中学校7校の体育館へのエアコン設置が完了し、稼働開始 現中央公民館、開館40周年記念誌を発行
4	4 月 1 日	草加市立中学校選択制の廃止
	4 月 1 4 日	匿名報告・相談アプリ「STANDBY（スタンバイ）」を導入
	4 月 2 3 日	中央図書館が令和4年度子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞
	7 月 3 0 日	奥の細道サミットin草加が開催され草加・川柳・両新田中学校生徒が「おくのほそ道」草加の条を群読
	8 月 1 8 日	市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第10回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催
	8 月 2 9 日	「タイムトンネル」の壁画を作成した谷塚中学校美術部に感謝状を贈呈
	1 0 月 1 8 日	花栗中学校が食品ロス削減推進表彰において、「学校給食を活用した食品ロス削減」により消費者庁長官賞を受賞
	1 1 月 2 日	新栄中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	1 1 月 1 5 日	新田中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	1 2 月 1 日	「学ぼう！ふるさと草加」 ふるさと草加学習指導資料 改訂
	2 月 1 日	松江中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	2 月 1 6 日	栄中学校区・谷塚中学校区による「草加っ子 読書活動推進プラン」に関わる研究発表会の中で令和4年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施
	3 月 4 日	草加中学校にて「草加イングリッシュキャンプ」を実施
	3 月	市内小中学校18校の体育館へのエアコン設置が完了し、全小中学校での稼働開始

年 度	月 日	主 な こ と が ら
令和 5	8月23日	市民体育祭 夏休み草加っ子相撲教室を4年ぶりに開催
	8月24日	市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第11回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催
	10月21日 ～12月17日	歴史民俗資料館で開館40周年記念企画展「追憶の豊田三郎」を開催
	10月25日	両新田中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	11月 1日	歴史民俗資料館、開館40周年
	11月11日	令和5年度「ビブリオバトル・草加の陣」を中央図書館で実施 (草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」研究委嘱校、新田小・長栄小・新田中の児童・生徒が参加)
	11月25日	学校対抗相撲大会を4年ぶりに開催
	11月27日	川柳中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	1月4日 ～21日	歴史民俗資料館で国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定10周年記念企画展「風景地でたどる『おくのほそ道』」を開催
	1月13日	伝えよう！ふるさと草加 第1回ICTプレゼンテーションコンクールを開催
	1月26日	花栗中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	2月1日 ～7日	学校給食展を4年ぶりに開催
	3月18日	国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」、指定10周年
	3月	第四次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』 第四次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画 第二次草加市子ども読書活動推進計画をそれぞれ策定

草加市の指定・登録文化財等

指定・登録文化財

(令和6年7月1日現在)

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	富士浅間神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの一間社流造(いっけんしゃながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間(1830～1844)の社殿で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形 経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその底部。筒身は現在、長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)6 枚に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重である。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院 山門 (建造物)	1 棟	寺院の表門で、型式は四脚門(しきゃくもん)。規模は表柱間 3.16m、奥行 3.58m。江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺 木造千体地藏 (彫刻)	1,000 体	主尊の勝軍地藏(しょうぐんじぞう)及び脇侍(わきじ)とともに、江戸後期の造立。今日まで完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 169-1 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院 十三仏石像 (歴史資料)	13 体	一体の石仏に、享保 6 年(1721)造立の銘がある。十三仏の各尊が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に例がなく、貴重な存在である。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院 六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道ごとの尊名を刻む六体の地藏菩薩。併せて建てられている供養塔の銘文から、元禄 4 年(1691)の造立と知れる。六地藏としての体系を具えたもので、造立当初からの姿態をよく残している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世から明治初期の、篠葉村関係の文書資料。検地帳や村絵図など、草加周辺の様子をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	77 点	近世の草加宿と近隣村を解明する上で大変重要であり、郷土史研究においては基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社 算額 (歴史資料)	1 面	市内唯一の算額であり、奉納年代も古いものである。また、奉納者の系統(宮城流)も明らかであり、貴重な文化遺産である。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺 鐘楼 (建造物)	1 棟	文久 2 年(1862)7 月再建と刻む石積みの基壇(きだん)上に建ち、柱間 2.72mの方形。絵様(えよう)は、立川(たてかわ)流を基本としてにぎやかに飾り、天井は鏡天井(かがみてんじょう)で、17 字の梵字(ぼんじ)を書く。よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の信仰生活を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏を梵字で刻む板碑は、市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・文化財の中には、所有者・管理者の意向により公表していないものもあります。
- ・掲載している文化財の中には、非公開のものもあります。見学を希望する際は、必ず所有者・管理者の許可を得てください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	長堀家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	48 点	旧新里村における、近世の旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮き彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華經」と題目(だいもく)が刻まれている。さらにその右には、北朝年号である至徳 3 年(1386)の年号が刻まれている。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年 山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型(いたびがた)で、寛永 13 年(1636)の紀年銘をもつ。二十一仏庚申塔(にじゅういちぶつこうしんとう)としては、草加市域はもとより隣接市区でも最も古く、貴重な信仰資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年 地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫型(まるぼりがた)の立像である。寛文 2 年(1662)の紀年銘をもつ市域でも古い像であり、貴重な金石資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年 地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の舟形(ふながた)の立像である。延宝 6 年(1678)の紀年銘をもち、市域でも古く、像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年 板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は、市域の六地藏のうちでは古く、また板碑型の碑面に六体を収めた例は、他に見られない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年 板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域でも古く、他の地藏像が丸彫型か舟型であるのに対し、他に例を見ない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社 獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	祭礼において、神輿(みこし)に供奉(ぐぶ)する獅子頭。高さ 83cm と大型で重量もあり、彫技に変化を付けることは至難であり、これも江戸末期の平面的な技法によって構成されている。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂 内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	寺院の彫刻は、経費や期間、構図等において様々な制約がある中、これは技法も細やかで、構図・刀痕(とうこん)ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺 山門 (建造物)	1 棟	江戸時代の木割(きわり)書によって建造され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また、冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕が見られる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	432 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や、明治中・後期の東京との交換売買の有様等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて、①草加せんべい、②豪農の家訓、③明治 10 年～20 年代の「草加人」の憲法学習、④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、いずれも郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も、立川流の絵様が採用されている。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m となる一間社流造で、彫刻充填(じゅうてん)式の社殿である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	手代町面芝居資料 (有形民俗文化財)	仮髪・面・ 衣装 44 点	面芝居(めんしばい)を演ずるのが、この地方の神楽の特色であったが、上演されなくなって久しい。面や衣装等はよく保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	弘安六年 弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1 基	弘安 6 年(1283)の紀年銘をもつ、市域で最も古い板碑。中世の信仰生活を理解する上で、かけがえない資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	享禄五年 弥陀一尊図像 庚申待板碑 (歴史資料)	1 基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は、市域ではこの 1 点が確認されただけであり、造立も享禄 5 年(1532)と古く、中世の信仰生活を理解する上で、貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 60 年 3 月 28 日
市	文明十七年 弥陀一尊図像 月待板碑 (歴史資料)	1 基	月待板碑(つきまちいたび)は、市域ではこの 1 点が確認されただけであり、紀年銘も文明 17 年(1485)と、市内の月待に關係する石造資料としては最も古く、中世の信仰生活を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和 61 年 2 月 20 日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1 基	明治 27 年(1894)に竣工し、昭和 58 年(1983)までの約 90 年間稼働されてきた二連アーチ型の煉瓦(れんが)造水門。煉瓦は古いタイプの横黒(よこぐろ)煉瓦を使用しており、この種の煉瓦を使用した最後期を代表する遺構である。また、建設当初からの美しい姿は周囲の景観にもよくとけ込み、さらに保存状態も良好で、農業土木技術史・窯業技術史上からも、貴重な遺構である。	神明 2-145-1 ほか 札幌河岸公園	市指定 平成 10 年 10 月 28 日 県指定 平成 11 年 3 月 19 日
市	正保二年 草賀町銘板碑型 線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1 基	「草賀町」と刻まれた石造資料としては、市域で最も古いものとして注目される。また、数少ない虚空蔵菩薩(こくうぞうぼさつ)立像が、線刻(せんこく)で刻まれている。	草加 2-13 北草加観音堂	平成 17 年 9 月 29 日
市	綾瀬川(旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1 基	昭和 4 年(1929)、綾瀬川のしゅんせつ工事中に見された。放射性炭素年代測定により、約 5300 年前・縄文時代前期のもので、材質は榎(カヤ)と判定された。帯状の割(く)り残しによる横梁(よこばり)を有し、丸木舟(まるきぶね)の構造を解明する上でも重要な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平成 18 年 7 月 26 日
国	草加市立歴史民俗資料館(旧草加小学校西校舎) (登録有形文化財<建造物>)	1 棟	大正 15 年(1926)に建設された、埼玉県初の鉄筋コンクリート造校舎。昭和 54 年(1979)度まで草加小学校の校舎として利用され、昭和 58 年(1983)に歴史民俗資料館としての運用が開始された。正面中央上部の山形のデザインが、この建物の芸術性の高さを象徴している。今なお「造形の規範となっているもの」と認められ、国の登録有形文化財(建造物)に、草加市で初めて登録された。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成 20 年 10 月 23 日
市	明治天皇 草加行在所記念碑 (歴史資料)	1 基	谷古宇村の名主を務めた大川弥惣右衛門家は、明治 9 年(1876)の奥羽巡幸(おううじゅんこう)及び同 14 年(1881)の東北・北海道巡幸に当たり、明治天皇の行在所(あんざいしよ:宿所)とされ、昭和 8 年(1933)には史蹟名勝天然記念物保存法に基づく史蹟に指定された。草加町はこれを記念し、翌 9 年(1934)に本記念碑を建立した。	住吉 2 丁目地内	平成 23 年 12 月 26 日

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
国	藤城家住宅 店舗・内蔵・外蔵 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	各 1 棟	日光街道に西面して建つ「店舗」は二階建てで、一階は張り出した庇（ひさし）部分を巧みに取り込み、土間と畳敷きの帳場（ちょうば）を設け、二階は畳敷きの座敷となっている。「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きが深い、草加宿の典型的な町屋の景観を残している。「国土の歴史的景観に寄与しているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	高砂 2-19-3	国登録 平成 25 年 6 月 21 日
市	瀬崎の富士行及び 富士塚 (民俗文化財)	一	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれるが、19 世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行き、富士の山頂で神靈に祈誓を捧げること」が最も重要な要素であるとの認識のもと、あえて「富士行(ふじこう)」と表記してきた。また、「オツタエ」と呼ぶ独自の唱言を伝え、山開きの 7 月 1 日などで奏上されている。誰もが富士登拝できるよう築かれた人工の山や塚を「富士塚」と呼ぶが、瀬崎の「富士塚」は大正 5 年(1916)8 月に築造されている。地元はもとより、近隣の「富士講」による参拝などもあって、今なお熱い信仰の対象となっている。	瀬崎 3-3-24	平成 26 年 1 月 24 日
国	おくのほそ道の 風景地 草加松原 (名勝)	一	綾瀬川沿いの旧日光街道に、約 1.5 km に及ぶ松の並木。古くから日光街道の名所として知られ、今では草加市のシンボルとして多くの市民に親しまれている。松は、一説には、天和 3 年（1683）の綾瀬川改修時に植えられたとも伝わるが、松尾芭蕉の『おくのほそ道』の時代の雰囲気や今に伝える風致景観であることが高く評価され、「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものの一つとして、国の名勝に指定された。	栄町 1 丁目ほか	国指定 平成 26 年 3 月 18 日
国	須田家住宅（中屋） 土蔵 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	1 棟	旧草加宿で、長く藍（あい）商を営んできた須田家の土蔵。明治後期に建てられ、二階建てで瓦ぶき。外壁は白漆喰（しろしっくい）を基調に、耐火性を重んじて軒先の垂木（たるき）・野地板（のじいた）までを塗り籠める。明治 3 年（1870）の大火以降、土蔵造り化が進んだ草加宿の姿を今に伝える数少ない遺構であり、「造形の規範となっているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	住吉 1-1-1	国登録 令和 3 年 10 月 14 日
国	久野家住宅店舗 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	1 棟	旧草加宿の北端近くで、街道に東面して建つ久野家の店舗。木造瓦ぶき。二階の軒先は腕木（うでき）を突き出し、その先端で桁（けた）を支える出桁（だしげた）造り。関東大震災などで被災しているが、正面出入り口の柱の側面や上部の庇には揚戸（あげど）の痕跡が認められる。草加宿の町屋建築の正面外観を今に伝える貴重な遺構であり、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	神明 1-6-14	国登録 令和 3 年 10 月 14 日

選定保存技術

選定	名 称	概 要	保持者・保存団体	認定年月日
国	唐紙製作	雲母（きら）や絵具を用い、木版摺（もくはんずり）の技術で紙に模様をつけた装飾紙の製作技術。 唐紙は、中国渡来の技術ではあるが、平安時代から和歌を書き写す料紙（りょうし）として、衝立（ついたて）や屏風（びょうぶ）、襖（ふすま）障子（しょうじ）などの建具（たてぐ）の一部として独自の発展を遂げ、主に宮廷や公家（くげ）の邸宅、寺院や一部の武家屋敷などで使用されてきた。なお、近世・江戸時代になると、需要は町屋（まちや）にまで広がり、庶民の使用にも広がりを見せている。 小泉氏は、使用する絵具の調整と正確な手摺り技法に定評があり、氏の作成された「唐紙」は、美術工芸品や建造物など文化財の保存に不可欠なものである。	小泉 幸雄 （こいずみ ゆきお）	国認定 平成 29 年 10 月 2 日

教育委員会関係附属機関委員

(令和6年8月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員(4人)

大野 正浩 遠藤 淳一 若林 秀次 高橋 惠美

草加市立小中学校通学区域審議会委員(15人)

大上 哲治 豊田 剛史 伊藤 亜由美 境 圭子 鈴木 道夫
市川 雅保 白石 隆夫 福田 誠一 平野 修 須賀 達也
生明 茂 船戸 姿子 小野澤 美明子 白井 章仁 市田 隆信

草加市立小中学校の学校医等公務災害補償認定委員会(3人)

石井 保雄 内藤 毅嗣 佐野 貴彦

草加市いじめ問題対策連絡協議会(17人)

石井 健一 池野 智康 茂木 綾子 大西 真希 春日 和久
小野 陽子 船戸 姿子 高橋 洋子 中村 久夫 市村 耕治
向坂 信久 成田 匡宏 巖上 哲子 村松 誠 吉田 英俊
和田 卓 篠崎 光浩

草加市いじめ問題調査対策委員会(4人)

荒木 真名 小幡 肇 川原 祐介 岡嶌 浩志

草加市障害児就学支援委員会委員(15人)

成田 奈緒子 浜田 正子 菅野 千尋 吉田 堯史 照井 幾子
中河内 千尋 長谷川 毅 林 勇輝 赤坂 佳美 鈴木 英治
柴崎 ひとみ 高橋 整 東 あやの 柳田 優子 土田 直人

草加市社会教育委員(15人)

横山 貞雄 渡辺 真一 金塚 和美 田邊 広昭 相澤 欣幸
猿渡 久子 高井 正 高橋 とし 榎本 武彦 榎本 明子
山本 多美子 安原 陽平 内田 有一 村上 純一 飯塚 竜也

草加市文化財保護審議会(6人)

岡本 一雄 譲原 純子 高梨 真行 菊地 潤 實松 幸男
山本 孝文

草加市公民館運営審議会委員(15人)

土屋 貴一 関根 光二 豊田 節子 吉岡 裕子 小笠原 由里映
小林 榮子 瀬尾 寛 中井 義人 安部 雄二 会田 大輔
蓮沼 孝侑 原口 聖生 柳田 悦子 梶原 祐子 桑原 千明

草加市立図書館協議会委員(12人)

帆玉 敬一 遠藤 淳一 中山 裕子 杉山 ふみ子 野田 圭介
青柳 伊佐雄 柴 康子 橋本 奈津子 渡邊 恒一 加藤 裕美
小曳 京子 福田 求

学校教育関係等一覧

○小学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目11番64号	927-3568・3569	谷 口 慎 一	檜 尾 良 輝
2	高砂小学校	中央一丁目2番5号	924-3425・3426	河 野 健	吉 田 佳 恭
3	新田小学校	旭町六丁目12番11号	941-3087・3172	嶋 田 弘 之	小 野 敦 史
4	谷塚小学校	谷塚仲町440番地	925-2422・7105	菅 野 光 三	藍 原 正 明
5	栄小学校	松原一丁目3番2号	941-2164・2124	村 田 隆 一	佐々木 和 寿
6	川柳小学校	青柳七丁目27番10号	931-5025・5024	渡 辺 真 一	長谷川 淳
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目32番1号	924-9656・9657	柳 田 加 代	蘇 武 敏 行
8	西町小学校	西町270番地	924-7245・7246	鈴 木 輝 子	佐々木 紀 剛
9	新里小学校	新里町759番地	924-7248・7249	赤 坂 佳 美	瀧 澤 史 広
10	花栗南小学校	花栗四丁目3番1号	941-2854・2835	小 林 和 美	早 野 裕 之
11	八幡小学校	八幡町65番地	936-6293・6294	寺 本 博 美	鈴 木 克 裕
12	新栄小学校	新栄四丁目959番地	941-2189・2188	野 村 真 一	鈴 木 孝 夫
13	清門小学校	清門三丁目37番地1	941-6755・6756	奥 村 勇	磯 川 剛
14	稲荷小学校	稲荷五丁目11番1号	936-5855・5856	平 野 修	伊 藤 真由美
15	氷川小学校	氷川町448番地	928-6771・6772	中 田 順 一	高 橋 康 子
16	八幡北小学校	八幡町1148番地	936-0773・0774	春 日 和 久	飯 塚 智 広
17	長栄小学校	長栄一丁目762番地	942-9874・9875	川 村 亜希子	畔 上 賀津夫
18	青柳小学校	青柳三丁目17番1号	931-0899・0894	須 賀 由 美	関 敬 之
19	小山小学校	小山二丁目8番1号	941-1701・1702	土 屋 貴 一	森 太 郎
20	両新田小学校	両新田西町55番地	927-8411・8412	帆 玉 敬 一	撰 郁 子
21	松原小学校	松原四丁目2番1号	941-3214・3996	佐 藤 勇	山 本 武

○中学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町2179番地4	925-5201・5202	小 松 薫 樹	市 村 耕 治
2	栄中学校	松原三丁目7番1号	941-2587・2589	大 野 正 浩	綿 貫 稔
3	谷塚中学校	谷塚上町62番地	925-2421・3456	森 寿 義	清 水 孝 一
4	川柳中学校	青柳七丁目35番1号	931-5827・5828	金 塚 和 美	高 橋 恒 太
5	新栄中学校	新栄一丁目33番地	941-5034・5035	諏 訪 太 介	江 口 和 彦
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目3番1号	927-6297・6298	小 野 陽 子	宮 本 雅 章
7	花栗中学校	花栗四丁目15番12号	941-5833・5835	笠 井 誠 司	竹 原 英 里
8	両新田中学校	両新田西町368番地1	924-5051・5052	本 間 錦 一	矢 野 博 之
9	新田中学校	長栄一丁目767番地	942-9872・9873	遠 藤 淳 一	神 田 研二郎
10	青柳中学校	青柳八丁目58番10号	936-4001・4002	鈴 木 英 治	石 橋 一 洋
11	松江中学校	松江三丁目14番33号	936-9903・9904	須 賀 達 也	橋 本 哲

○高等学校・大学等

No.	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校長・学長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	田 邊 広 昭
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	谷ヶ崎 覚
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1	936-3570	佐 藤 智 明
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	沖 田 潤 子
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	小 林 直 紀
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	前 沢 浩 子
7	文教大学 東京あだちキャンパス	足立区花畑五丁目6番1号	5686-8577	中 島 滋

○私立幼稚園・認定こども園

No.	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	生 沼 千枝子
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目22番6号	931-4949	鈴 木 達 哉
5	かおり Karuna 認定こども園	氷川町1080番地1	928-4489	帛 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	杉 浦 美 穂
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	圀 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	田 幸 徹
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	木 元 孝 子
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	保 坂 礼 子
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児 童 ・ 生 徒 数 等 の 推 移

(各年度5月1日現在 単位：人・校)

年度		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
児童・生徒数	小学校	13,677	13,936	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617	13,410	13,160
	中学校	5,567	5,651	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549	6,555	6,547
学校数	小学校	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
児童・生徒数	小学校	13,015	12,829	12,623	12,421	12,254	12,123	11,895	11,683	11,441	11,269
	中学校	6,425	6,380	6,209	6,144	6,048	6,068	6,014	5,957	5,778	5,631
学校数	小学校	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

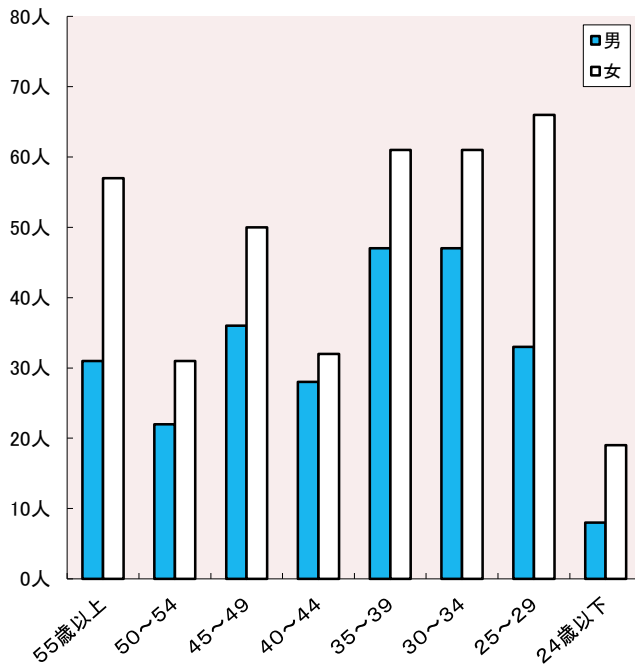
教職員の年齢構成・男女比

(令和6年5月1日現在、県費負担教職員)

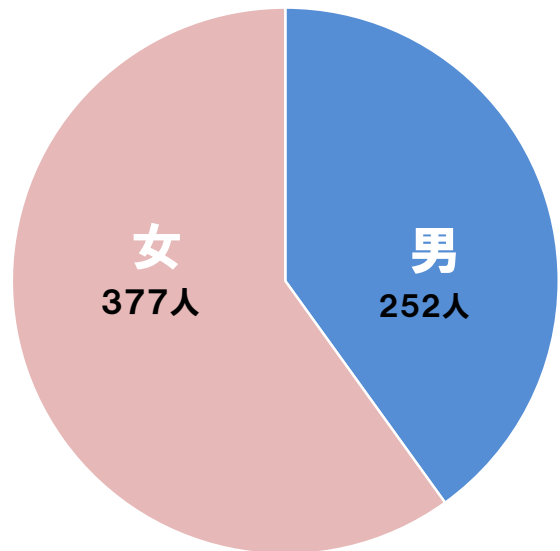
(年齢は令和7年3月31日現在)

小学校 (629人)

年齢構成

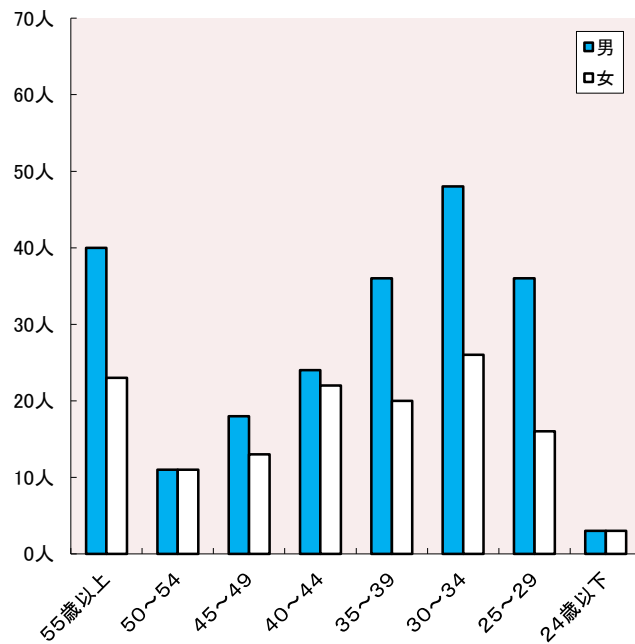


男女比

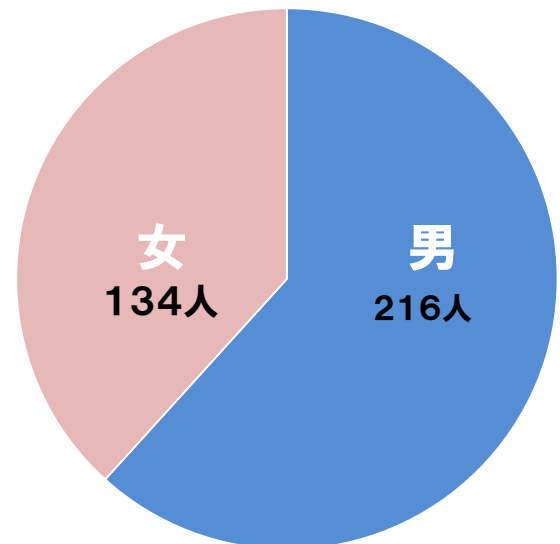


中学校 (350人)

年齢構成



男女比



学校概要

令和6年度草加市小中学校学校年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(令和6年5月1日現在)

	学校数	学級数			児童・生徒数	
		通常学級	特別支援学級	計	男	女
小学校	21	373	65	438	252	377
中学校	11	159	25	184	216	134
計	32	532	90	622	468	511

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級				計		県費教職員数							学校 栄養 職員	事務 職員	計
				児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭						
1	草加	明5.5.15	5月15日	88	3	122	4	113	4	122	4	133	4	93	3	16	3	687	25	1	1	29	1	1	1	1	0	35			
2	高砂	昭29.4.1	9月18日	100	3	109	4	120	4	138	4	123	4	151	5	15	2	756	26	1	1	31	1	1	1	1	0	37			
3	新田	明6.4.26	4月26日	60	2	62	2	52	2	65	2	72	3	64	2	15	3	390	16	1	1	19	1	0	1	1	0	24			
4	谷塚	明6.1.25	1月25日	97	3	101	3	101	3	111	4	115	4	95	3	15	3	635	23	1	1	26	1	1	1	1	0	32			
5	栄	昭38.4.1	5月2日	85	3	91	3	122	4	103	3	100	3	101	3	31	5	633	24	1	1	29	2	0	1	1	1	36			
6	川柳	明6.1.15	4月12日	73	3	77	3	95	3	78	3	88	3	96	3	24	4	531	22	1	1	25	1	0	1	1	1	31			
7	瀬崎	昭42.4.1	5月4日	80	3	83	3	91	3	84	3	85	3	92	3	15	3	530	21	1	1	0	24	1	0	1	1	29			
8	西町	昭42.4.1	1月23日	93	3	85	3	109	4	87	3	101	3	116	4	25	4	616	24	1	1	26	1	1	1	1	0	32			
9	新里	昭45.4.1	2月10日	91	3	101	3	98	3	103	3	106	4	114	4	20	3	633	23	1	1	25	1	1	1	1	0	31			
10	花栗	昭47.4.1	5月10日	84	3	71	3	66	2	96	3	77	3	104	3	16	3	514	20	1	1	0	23	2	1	1	1	0	29		
11	八幡	昭48.4.1	9月29日	99	3	85	3	101	3	119	4	119	4	111	4	19	3	653	24	1	1	29	1	0	1	1	1	35			
12	新井	昭49.4.1	11月22日	58	2	57	2	62	2	55	2	60	2	65	2	11	2	368	14	1	1	17	1	0	1	1	0	22			
13	清門	昭51.4.1	9月14日	109	4	99	3	115	4	113	4	148	5	153	5	19	3	756	28	1	1	32	1	1	2	0	39	29			
14	福荷	昭52.4.1	5月4日	75	3	75	3	79	3	75	3	72	3	65	2	11	2	452	19	1	1	22	1	1	1	1	0	28			
15	米川	昭52.4.1	9月16日	95	3	79	3	74	3	81	3	108	4	86	3	30	5	553	24	1	1	29	1	0	1	1	0	34			
16	八幡	北昭54.4.1	5月4日	63	2	64	2	66	2	62	2	60	2	80	3	16	3	411	16	1	1	19	1	0	1	1	0	24			
17	長栄	昭55.4.1	7月1日	72	3	68	2	61	2	82	3	75	3	80	3	18	4	456	20	1	1	22	1	1	1	1	0	28			
18	青柳	昭57.4.1	5月4日	57	2	41	2	65	2	52	2	65	2	68	2	11	2	359	14	1	1	0	19	1	0	1	1	0	23		
19	小山	昭57.4.1	10月14日	63	2	72	3	65	2	72	3	73	3	68	2	12	2	425	17	1	1	20	1	0	1	1	0	25			
20	両新	田昭57.4.1	5月4日	75	3	52	2	85	3	71	3	69	2	83	3	19	3	454	19	1	1	22	1	0	1	1	0	27			
21	松原	平21.4.1	5月23日	93	3	83	3	72	3	61	2	72	3	56	2	20	3	457	19	1	1	23	1	0	1	1	0	28			
計				1,710	59	1,677	59	1,812	61	1,830	63	1,921	67	1,941	64	378	65	11,269	438	21	21	18	511	23	9	22	4	629			

(中学校)

1	草加	昭22.4.1	4月23日	220	6	200	5	215	6							13	3	648	20	1	1	1	29	1	0	1	1	1	35
2	栄	昭22.4.1	11月2日	130	4	162	5	154	4							13	2	459	15	1	1	1	25	1	0	1	1	0	30
3	谷塚	昭22.4.1	5月3日	171	5	201	6	206	6							12	2	590	19	1	1	0	29	1	1	1	1	0	34
4	川柳	昭22.4.1	5月1日	110	3	120	4	112	3							8	2	350	12	1	1	1	20	1	1	1	1	0	26
5	新栄	昭49.4.1	5月4日	206	6	207	6	242	7							15	2	670	21	1	1	1	35	1	0	2	1	1	42
6	瀬崎	昭51.4.1	5月4日	214	6	209	6	202	6							13	2	638	20	1	1	1	31	1	0	1	1	0	36
7	花栗	昭52.4.1	5月24日	143	4	130	4	132	4							9	2	414	14	1	1	1	25	1	1	1	1	0	31
8	両新	田昭54.4.1	5月4日	157	5	167	5	184	5							12	3	520	18	1	1	1	26	1	0	1	1	0	31
9	新田	昭55.4.1	7月1日	145	4	132	4	129	4							15	3	421	15	1	1	1	23	1	0	1	1	0	28
10	青柳	昭56.4.1	7月7日	140	4	173	5	185	5							7	2	505	16	1	1	0	26	1	0	1	1	0	30
11	松原	江昭60.4.1	6月27日	123	4	144	4	136	4							13	2	416	14	1	1	0	23	1	0	1	1	0	27
計				1,759	51	1,845	54	1,997	54							130	25	5,631	184	11	11	8	292	11	3	12	2	2	350

小・中学校施設状況

(令和6年4月1日現在)

No	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5,393	34	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	46	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	5,992	32	901	385	4,327
4	谷塚小学校	17,311	8,603	38	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	38	938	385	9,304
6	川柳小学校	21,924	5,888	30	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,487	33	916	375	4,914
8	西町小学校	18,909	6,540	35	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	37	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	30	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	39	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	26	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,180	38	902	375	7,473
14	稲荷小学校	16,324	4,858	27	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,707	37	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	30	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	29	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	28	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	25	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	27	936	350	9,132
21	松原小学校	18,338	8,009	34	851	345	7,635
計		357,484	137,413	693	19,893	7,775	159,613
1	草加中学校	21,506	5,755	33	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,805	29	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	33	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	26	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	37	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,057	34	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	32	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	31	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	6,656	28	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	30	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	28	800	325	9,383
計		210,865	68,996	341	11,103	3,775	103,964

令和6年度 草加の教育

令和6年9月 発行

編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目1番1号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178

